

2022 年度 研究所事業報告書

研究所名	アート・リサーチセンター
------	--------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 年)および 2022 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。なお、2022 年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、書式 B に記述のうえ提出してください。

2022 年度事業としては、ARC が国際共同利用・共同研究拠点として認定され、「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」(ARC-iJAC)の事業を滞りなく、かつ戦略的に前進させることが中心の課題である。世界の日本文化研究に対して負っている責任の大きさを考慮すれば、ARC が進むべき方向性は明確である。ARC がこれまでに蓄積したデジタルリソースを存分に活用し、時代・社会の要請にも応じた形で日本文化研究に邁進しつつ、そこで必要不可欠となる研究基盤・研究環境の開発さらに推進すること、そして ARC という基盤・環境で活動したいと希求する国内外の研究プロジェクトにそれらを提供することで、大規模なリサーチ・コミュニティの核となること、とまとめることができる。

これを実現するための具体的な方向性が重点プロジェクト「文化情報のデジタルデザイン:データ駆動型研究の推進を目指して」を選定した理由となる。当該研究環境を開発しながら研究を進める点においては、R2030 チャレンジデザイン「大胆な発想から自己変革」する研究所像に直結していることも強調しておきたい。

以下、上記の研究所像を実現するためには、下記 7 点が主要な課題として設定したが、それぞれの成果を述べる。

(1) デジタル・アーカイブ活動のさらなる推進(リソースおよび技術の双方の追求)

海外では、シカゴ美術館、メトロポリタン美術館、カリフォルニア大学バークレー校東アジア図書館所蔵資料のデジタル・アーカイブを実施。また、国内では、赤穂市歴史博物館、専修大学図書館等の所蔵資料のデジタル化、を行ない、それぞれデータベースへの登録・一般公開に結びつけている。また、ポータルデータベースシステムを活用して、オンライン上の画像データ(+メタデータ)の取り込みによる巨大アーカイブ、すなわちビッグデータの形成が実現できた。

(2) デジタル化海外ブランチの形成

コロナ禍の中で、国内での移動や海外渡航が制限されるなか、海外でのデジタルアーカイブブランチと呼べる、ARC モデルのマインドを持った研究プロジェクトを育成、実際に各地のデジタル・アーカイブを実現した。たとえば、セインズベリー研究所との協力により、人材募集、オンラインの技術指導の実施などを経て、大英博物館所蔵品やビクトリア&アルバート博物館の所蔵品のデジタル化を推し進めた。また、ARC がかつてデジタル化を実施した機関との交渉によりオンライン公開を実現した。

(3) データ駆動型研究を実現させる研究環境 ARC リサーチ・スペースの構築と更新

ARC リサーチスペースを特徴付ける MY Database 機能の強化と広報活動を重点的に実施し、活用事例が拡大した。

(4) AI や Deep Learning などによる強力なデジタルツールの開発と ARC リサーチ・スペースへの実装

画像認識機能を絵画データベースに付与、アノテーション機能の効率の大幅アップに繋がった。

(5) 現実の研究活動空間と ARC リサーチ・スペースのデジタルツイン実現による、ARC リサーチ・スペースへの誘導
利用者がよりデジタルツインと感じ取れる細部にわたる機能強化を実施した。

(6) 次世代リサーチ・スペース「リサーチ・メタバース」の導入可能性検証と環境整備

「リサーチ・メタバース」の具体像を結ぶための専門家からのヒアリング並びに検討会により、次年度の本格検討段階へと移行した。

(7) 研究マネジメント力・研究実践力を養う若手研究者育成、将来の国際連携を視野に入れた若手研究者育成

学内補助金の獲得による様々な若手育成の仕組み、プログラムを拡張した。

上記の課題解決に向けたさまざまな事業の中で、デジタル化された多様かつ膨大な文化資源のデジタル・アーカイブが成長し、そこにビッグデータが形成され、処理・分析され、国際的な連環を伴って新たな総合知が創生される具体的な像と、次の課題を明確化できたことが、本年度の大きな成果である。このプロセスにおいては、総合知のみならず、総合知を生み出す環境・手法をも同時に構築・成長させることになり、そこには、常に研究をデザインする発想が投入される。すなわち、日本文化研究・教育のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を促進するものとなる。内閣府は、Society5.0(サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステム)を提唱しているが、メタバースを取り入れたパブリック・ヒューマニティーズの構想に結実した。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2023年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長			
運営委員	赤間 亮	文学部	教授
	矢野 桂司	文学部	教授
	木立 雅朗	文学部	教授
	西林 孝浩	文学部	教授
	竹中 悠美	先端総合学術研究科	教授
	前田 亮	情報理工学部	教授
	田中 覚	情報理工学部	教授
	西浦 敬信	情報理工学部	教授
	THAWONMAS Ruck	情報理工学部	教授
	鈴木 桂子	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員(教授)
	田中 弘美	情報理工学部	特命教員(教授)
	金子 貴昭	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員(准教授)
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	稲葉 光行	政策科学部	教授
	奥出 成希	映像学部	教授
	中村 彰憲	映像学部	教授
	三須 祐介	文学部	教授
	川越 恭二	情報理工学部	特任教授
	斎藤 進也	映像学部	准教授
	古川 耕平	映像学部	准教授
	李 亮	情報理工学部	准教授
	Martin Roth	先端総合学術研究科	准教授(任期制)
	河角(赤石)直美	文学部	准教授
	井上 明人	映像学部	講師(任期制)
	長谷川 恭子	情報理工学部	講師(任期制)
	東野 陸	衣笠総合研究機構	研究教員(助教)
	佐藤 弘隆	文学部京都学専攻	特任助教
SONG Yuting	情報理工学部	特任助教	
学内の若手研究者	① 専門研究員・研究員	SHIN Juhyung	衣笠総合研究機構 専門研究員
	② リサーチアシスタント	武内 樹治	文学研究科 D1(NEXTフェロー)
		平野 理紗子	文学研究科 D1(NEXTフェロー)
		江川 琢真	情報理工学研究科 D1
		戸塚 史織	文学研究科 D1(学振DC1)
		寶生 紗樹	文学研究科 D1(RARA 学生フェロー)

	宮田 悠史	文学研究科	D3
	安宅 望	文学研究科	D3
	毛利 仁美	文学研究科	D4
③博士前期課程学生 (修士課程含む)	北岡 沙映	文学研究科	M0
	TAO Jin	文学研究科	M1
	大村 凜	情報理工学研究科	M1
	中西 清貴	情報理工学研究科	M1
	廣瀬 彩乃	情報理工学研究科	M1
	NGUYEN Van Thai	情報理工学研究科	M1
	KHAN Ibrahim	情報理工学研究科	M1
	CHANMAS Gunt	情報理工学研究科	M1
	YU Lian	情報理工学研究科	M1
	田邊 准	情報理工学研究科	M1
	長谷川 綾音	映像研究科	M1
	高松 美紀	映像研究科	M1
	榎村 麻里子	映像研究科	M1
	TONG Haorui	映像研究科	M1
	LIU Zijian	情報理工学研究科	M1
	YUAN Guangyuan	情報理工学研究科	M1
	HAO Liwei	映像研究科	M1
	閻 彦橋	情報理工学研究科	M2
	楊 坤	情報理工学研究科	M2
	中村 晃希	情報理工学研究科	M2
	原田 優菜	情報理工学研究科	M2
	三浦 峻平	情報理工学研究科	M2
	芳澤 翼	情報理工学研究科	M2
	少路 春希	情報理工学研究科	M2
	西堀 優子	文学研究科	M2
	堀池 理生	文学研究科	M2
	山本 睦月	文学研究科	M2
	SANGYANLOY Tannop	情報理工学研究科	M2
	CHAIWONG Jaturawit	情報理工学研究科	M2
	DAI Xincheng	情報理工学研究科	M2
	伊藤 聡子	情報理工学研究科	M2
	JIA Hao	情報理工学研究科	M2
	LIU Yushi	情報理工学研究科	M2
	SAVCHYN Roman	情報理工学研究科	M2
岡田 陸	映像研究科	M2	
川端 恵大	情報理工学研究科	M2	
東雲 陽美	情報理工学研究科	M2	
LI Yishuang	映像研究科	M2	
CHEN Leyi	映像研究科	M2	

④博士後期課程学生 (博士課程含む)	NOBNOP Ratchanon	情報理工学研究科	D1
	LI Xiaoxu	情報理工学研究科	D1
	MURY Fajar Dewantoro	情報理工学研究科	D1
	嶋津 麻穂	先端総合学術研究科	一貫制博士課程 3 (D1 相当)
	NGUYEN Binh Thien	情報理工学研究科	D2
	KHALTARKHUU Garmaabazar	情報理工学研究科	D2
	印牧 真明	文学研究科	D3
	中村 由衣	先端総合学術研究科	一貫制博士課程 4 (D2 相当) (Next フェローシッ プ生)
	WEI Zhenao	情報理工学研究科	D5
	常木 佳奈	文学研究科	D6
	張 憲	先端総合学術研究科	一貫制博士課程 7 (D5 相当)
⑤日本学術振興会特別研究員 (PD・RPD)	LI Kangying	日本学術振興会	特別研究員(PD)
その他の学内者 (補助研究員、授業担当講師・研 究生・研修生等)	尾鼻 崇	映像学部	授業担当講師
客員協力研究員	飯塚 公藤	近畿大学総合社会学部	准教授
	石上 阿希	早稲田大学教育・総合科学学術院 教育学部	講師
	井上 学	株式会社シティプランニング	顧問
	岩切 友里子	-	-
	岩田 秀行	跡見学園女子大学文学部	名誉教授
	大西 秀紀	京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター	客員研究員
	大矢 敦子	京都文化博物館	学芸員
	岡本 隆明	京都府立京都学・歴彩館	資料課担当
	亀田 和子	ハワイ・パシフィック大学 人文科学部美術史学	講師
	河原 大	株式会社キャドセンター	社員
	木村 文則	尾道市立大学	准教授
	倉橋 正恵	同志社女子大学	嘱託講師
	佐古 愛己	佛教大学歴史学部	准教授
	鹿内 菜穂	亜細亜大学経営学部	講師
	高須 奈都子	大阪商業大学	非常勤講師
	竹内 千代子	立命館大学	授業担当講師
	舘野 まりみ	早稲田大学 文学学術院美術史学科	非常勤講師

谷 昇	-	-
土田 勝	日本電信電話株式会社	研究主任
佐藤 弘隆	愛知大学	助教
中村 恵美	-	-
廣瀬 千紗子	同志社女子大学	名誉教授
細井 尚子	立教大学 異文化コミュニケーション学部	教授
本多 健一	大阪観光大学観光学部	准教授
本地 陽彦	国立映画アーカイブ	客員研究員
前崎 信也	京都女子大学家政学部	教授
松葉 涼子	University of East Anglia	講師
丸川 雄三	国立民族学博物館 人類基礎理論研究部	准教授
矢野 明子	大英博物館アジア部	三菱商事キュレイトー
BINCSIK Monika	メトロポリタン美術館	アソシエイト学芸員
HAFT Alfred	大英博物館	学芸員
HONCOOPOVÁ Helena	アングロアメリカン大学	講師
HUBER Brigitte	Koller Auction	助手
MARCEAU Lawrence E.	国際日本文化研究センター	連携共同研究員
MIKES Marek	マサリック大学日本学講座	助教授
PELLECCHIA Diego	京都産業大学文化学部	准教授
RUPERTI Bonaventura	ヴェネツィア・カフオスカリ大学	教授
TINIOS Ellis	リーズ大学歴史学部	名誉講師
VESCO Silvia	ヴェネツィア・カフオスカリ大学	教授
今井 将樹	大日本印刷株式会社	マーケティング部リーダー
米倉 迪夫	東京文化財研究所	名誉研究員
廣澤 裕介	-	-
楊 清発	四川農業大学	准教授
杉浦 和子	京都大学大学院文学研究科	教授
田島 等	学校法人上田学園	理事
BERGMANN Annegret	東京大学人文社会系研究科	特任准教授
CLARK Timothy Thorburn	大英博物館	名誉研究員
山口 記弘	東映太秦映画村	特別顧問
山本 真紗子	日本学術振興会特別研究員(京都市立芸術大学芸術資源研究センター)	RPD
山路 正憲	デトロイト トーマツ コンサルティング合同会社	社員
森 敬洋	佛教大学	非常勤講師
瀬戸 寿一	駒澤大学文学部地理学科	准教授
津田 光弘	イパレット	代表

	塚本 章宏	徳島大学院社会産業理工学研究部	准教授
その他の学外者	久永 一郎	大日本印刷株式会社	マーケティング本部 室長
	山口 欧志	国立文化財機構奈良文化研究所	研究員
	LOWOOD Henry	スタンフォード大学	大学図書館学芸員
	山田 雅美	ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館	東洋部日本美術担 当学芸員
	上田 文	関西学院大学/同志社女子大学	非常勤講師
	武藤 祥子	公益財団法人松竹大谷図書館	主任司書
	森岡 秀人	公益財団法人古代学協会	客員研究員
	THOMSEN Hans Bjarne	University of Zurich	Professor and Chair
	CABAÑAS Pilar	University of Madrid	Associate Professor
研究所・センター構成員 計 157 名 (うち学内の若手研究者 計 60 名)			

Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2023年3月31日時点)
また、書式Bの研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	川嶋 將生	清水寺 成就院日記第7巻	共同校訂	2022年11月	法蔵館	下坂守他9名	407 p
2	川嶋 將生	八坂神社日記 万覚日記1	共同校訂	2023年3月	法蔵館	下坂守他8名	311 p
3	石上 阿希	想像する身体 下巻 身体の未来へ	共著	2022年12月	臨川書店	安井眞奈美、ローレンス・マルソー編、他著者20名	pp. 37-61
4	亀田和子	Imagery of the Orchid Pavilion Gathering: Visualizing Tokugawa Cultural Networks	単著	2022年11月	Brill, Leiden		320PP
5	MARCEAU, Lawrence E.	想像する身体 上 身体イメージの変容 (The Body as Subject: Body Images Transformed)	共著	2022年12月20日	臨川書店	安井眞奈美	pp. 5-15 (共著); pp. 1-319, i-x (共編)
6	MARCEAU, Lawrence E.	想像する身体 下 身体の未来へ (The Body as Subject: Bodies yet to Come)	共著	2022年12月20日	臨川書店	安井眞奈美	pp. 5-15, 68-82, 325-327 (共著); pp. 18-36 (単著); pp. 1-334, i-viii (共編)
7	前崎信也	『静寂の南画家 甲斐虎山一孤高の生涯と芸術』	共著	2022年6月	目の眼出版	共編者: 村田隆志	全172頁
8	前崎信也	『KOGEI Next Exhibition 2022 図録』	共著	2023年3月	古美術鐘ヶ江・クロステックマネジメント	共監修者: 鐘ヶ江英夫	全50頁
9	前崎信也	「日本の産業革命と京焼の課題」『近代陶磁器 美・技の世界—横山美術館所蔵品・明治以降輸出された陶磁器を中心に』	単著	2022年10月	横山美術館	横山美術館編	146-147頁
10	前崎信也	「対談 田能村直入と煎茶」『田能村直入とその子弟』	共著	2022年12月	天門美術館・山添天香堂	共著者: 佃梓央	92-95頁
11	岩田 秀行	浅草寺日記 42	共編	2022年7月	吉川弘文館	浅草寺日並記研究会の一員として共編、浅草寺史料編纂所	pp. 1-776

12	廣瀬千紗子	読書する人々	単著(分担執筆)	2022年9月	『京都 二条城と寛永文化』LivingHistory in 京都・二条城協議会編 清幻社	濱崎加奈子監修	p104~p109
13	竹内千代子	『花供養』翻刻集成II—蒼虬の時代(1) 寛政十一年~文化十三年—	単	2023年1月	私家版	無	pp. 1-128
14	竹内千代子	石清水八幡宮『八幡八景』	共著	2023年3月	私家版	小西 亘・土井三郎	pp. 1-126
15	Timothy Thorburn CLARK	葛飾北斎 万物絵本大全	単著	2022年4月	朝日新聞出版	樋口一貴、永井裕子、村瀬可奈	
16	倉橋 正恵	歌舞伎評判記集成 第三期 第六巻	共著	2023年2月	和泉書院	役者評判記研究会編	pp. 331-384, pp. 454-455
17	Mohamed Soliman	The Functional Urbanism of Souk Al-Silah, Cairo: The Political and Economic Impact on trade in a Medieval Urban Fabric	単著	2022年9月	Routledge	Neveen Hamza	pp. 109-122
18	廣澤 裕介	明代白話小説の出版	単著	2023年4月	汲古書院	廣澤裕介	全冊
19	Hans Bjarne Thomsen	China and the West: Reconsidering Chinese Reverse Glass Painting	共著	2022年	Berlin: De Gruyter	Francine Giese, Elisa Ambrosio, and Alina Martimyanova	
20	Hans Bjarne Thomsen	The Breath of Japan: Written and Painted Poetry, Japanese Contemporary Art / Der Atem Japans: Geschriebene und Gemalte Poesie, Japans Kunst der Gegenwart	共著	2022年	München: Hirmer Verlag	Heinz Kroehl	
21	Hans Bjarne Thomsen	Lines from East Asia: Japanese and Chinese Art on Paper	共著	2022年	Petersberg: Michael Imhof Verlag	Susanna Pollack	
22	上田 文	アフリカ×日本 アレワ紡の時代—ナイジェリアと日本の繊維生産 1963-2005 (報告書)	単著	2023年3月	京都工芸繊維大学美術工芸資料館および立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際研究拠点」2022年度 国際共同研究採択課題「新しい近代京都機械染染史構築に向けて—近代デザインと産業史をむすぶデジタル・アーカイブを—」	並木誠士・青木美保子	pp. 1-30
23	上田 文	粋を尽くす 近現代のきもの	共著	2022年10月	武庫川女子大学附属総合ミュージアム	加茂瑞穂・伊永陽子・平法子・横川公子編	P1-P64
24	井川繭子	完本 中村吉右衛門 (中村吉右衛門年譜)	共著	2022年12月	朝日新聞出版	小玉祥子	pp. 249-306
24	佐々木絵理	完本 中村吉右衛門 (中村吉右衛門年譜)	共著	2022年12月	朝日新聞出版	小玉祥子	pp. 249-306
24	武藤祥子	完本 中村吉右衛門 (中村吉右衛門年譜)	共著	2022年12月	朝日新聞出版	小玉祥子	pp. 249-306
25	森岡秀人	高松塚古墳の被葬者問題に関する整序の二、三	共著	2022年12月	『高山流水—赤澤徳明氏退職記念論集』		
26	森岡秀人	眺望分析、遺構・遺物からみた『青谷・城ヶ谷集団』	共著	2023年3月	神戸市、城ヶ谷遺跡第4次発掘調査報告書	宇佐美智之 桑原久男	pp. 85-94
27	森岡秀人	現地踏査およびUAV・GIS眺望分析にもとづく赤坂遺跡の立地特性の検討	共著	2023年3月	島崎川流域遺跡調査団、長岡市島崎川流域遺跡群の研究III 赤坂遺跡2	宇佐美智之 桑原久男	pp. 66-75
28	森岡秀人	大和・布留遺跡と高地性集落の問題 —豊田山遺跡と別所裏山遺跡の立地と消長を中心に(断章)	共著	2022年9月	天理市観光協会、ここまで判った布留遺跡		pp. 203-209
29	村島 彩加	舞台の面影—演劇写真と役者・写真師—	単著	2022年5月	森話社		
30	高須 奈都子	『未来を切り拓く古典教材』(担当頁:「小袖雛形本を読んでみよう!」)	共著	2023年3月	文学通信	編者: 山田和人/加藤直志/加藤弓枝/三宅宏幸	pp. 150-157
31	福島幸宏	デジタル時代のアーカイブ系譜学	共著	2022年12月	みすず書房	加藤諭、宮本隆史、柳与志夫、大向一輝、嘉村哲郎、鈴木親彦、谷川智洋、加藤謙信、阿部卓也、中村覚、稲葉あや香	pp. 96-121

32	並木誠士	学理と応用—京都高等工芸学校初10年の軌跡—	共著	2022年10月	京都工芸繊維大学美術工芸資料館		pp. 1-157
33	武藤 祥子	歌舞伎公演筋書(歌舞伎座、大阪松竹座、京都南座、御園座、明治座の各劇場)	共著	2022年4月-2023年3月(※本公演のみ、20公演77タイトル)			巻末「上演年表」
34	飯塚 公藤	京都の山と川—「山紫水明」が伝える千年の都—	共著	2022年	中公新書	鈴木康久・肉戸裕行	
35	神楽岡 幼子	『歌舞伎評判記集成 第三期』 第六巻	共著	2023年2月	和泉書院	役者評判記刊行会編	全506頁

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	田中覚	Application of the Edge Upsampling Network to Soft-Edge Regions in a 3D-Scanned Point Cloud	共著	2022年10月	Springer Communications in Computer and Information Science 1636	Weite Li, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Akihiro Tsukamoto, Yamaguchi Hiroshi, Fadjjar I. Thufail, Brahmantara, Satoshi Tanaka	11-18	有
2	田中覚	Deep Learning-based Highlighting Visualization for Soft Edges in Large-Scale Scanned Point Clouds	共著	2022年11月	Japan Society for Simulation Technology Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering 9(2)	Weite Li, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Akihiro Tsukamoto, Yamaguchi Hiroshi, Fadjjar I. Thufail, Brahmantara, Satoshi Tanaka	278-288	有
3	田中覚	Opacity-gradation-based visualization of vortices for large-scale ocean simulation	共著	2022年12月	Springer Communications in Computer and Information Science 1712	Soya Kamisaka, Satoshi Nakada, Shintaro Kawahara, Hiro Miyachi, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Satoshi Tanaka	622-631	有
4	田中覚	Improving depth perception using edge highlighting in transparent stereoscopic visualizations of laser-scanned 3D point clouds	共著	2022年12月	Springer Communications in Computer and Information Science 1712	Daimon Aoi, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Yuichi Sakanoo, Naohisa Sakamoto, Satoshi Tanaka	622-631	有
5	田中覚	Digital Archiving of Indonesian Cultural Heritage and Development of 4D High-Definition Visualization Contents	単著	2022年12月	the Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University 4	Satoshi TANAKA	209-224	有
6	田中覚	Deep Learning in Cultural Heritage: Improving the Visualization Quality of 3D Digital Archives	共著	2022年12月	the Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University 4	Jiao Pan, Weite Li, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka	175-190	有
7	田中覚	Semantic segmentation for digital archives of Borobudur reliefs based on soft-edge enhanced deep learning	共著	2023年2月	MDPI Remote Sensing	Shenyu Ji, Jiao Pan, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Hiroshi Yamaguchi, Fadjjar I. Thufail, Brahmantara, Upik Sarjiati, Satoshi Tanaka		有
8	矢野健一	辰馬考古資料館所蔵の土偶・土製品・石製品	共著	2022年12月	辰馬考古資料館辰馬考古氏商館 考古学研究紀要(7)		1-57	
9	矢野健一	土器量からみた北白川縄文遺跡群の人口動態に関する予察	共著	2023年3月	環太平洋文明研究 7	矢野健一・コーリー, タイラー, ノックソン	66-77	
10	前田亮	Question Generation for Reading Comprehension Test Complying with Types of Question	共著	2022年5月	Institute of Information Science, Academia Sinica, Journal of Information Science and Engineering 38(3)	Junjie Shan, Yoko Nishihara, Ryosuke Yamanishi	571-589	有
11	前田亮	Text Classification of Modern Mongolian Legal Documents	共著	2022年6月	Proceedings of the Sixth International Workshop on Juris-informatics (JURISIN 2022)	Garmaabazar Khaltarkhuu, Biligsaikhan Batjargal	181-194	有
12	前田亮	Intuitively Searching for the Rare Colors from Dig	共著	2022年7月	MDPI, Future Internet 14(7)	Kangying Li, Jiayun Wang, Biligsaikhan Batjargal	21 pages	有

		ital Artwork Collections by Text Description: A Case Demonstration of Japanese Ukiyo-e Print Retrieval						
13	前田亮	Text Classification of Modern Mongolian Documents using BERT Models	共著	2022年11月	IEEE, Proceedings of the 26th International Conference on Asian Language Processing (IALP 2022)	Garmaabazar Khaltarkhuu, Biligsaikhan Batjargal	219-224	有
14	前田亮	『日本人名辞典』からの歴史人物情報の抽出: Few-shot学習による古文の固有表現抽出の試み	共著	2022年12月	情報処理学会, 人文科学とコンピュータシンポジウム論文集	苑 広媛, 李康穎, 後藤真, 木村 文則	187-192	有
15	前田亮	Modified Conditional Restricted Boltzmann Machines for Query Recommendation in Digital Archives	共著	2023年2月	MDPI, Applied Sciences 13(4)	Jiayun Wang, Biligsaikhan Batjargal, Kyoji Kawagoe, and Ryo Akama	19 pages	有
16	THAWONMAS Ruck	DareFightingICE Competition: A Fighting Game Sound Design and AI Competition	共著	2022年8月	Proc. of the 2022 IEEE Conference on Games	Ibrahim Khan, Thai Van Nguyen, Xincheng Dai, Ruck Thawonmas	478-485	有
17	THAWONMAS Ruck	Science Birds Gameplay With a Smile Interface to Promote the Spectator's Emotion	共著	2022年8月	Proc. of the 2022 IEEE Conference on Games	Febri Abdullah, Mury F. Dewantoro, Ruck Thawonmas and Fitra A. Bachtiar	584-585	有
18	THAWONMAS Ruck	Cute Helper: A Study on the Effect of Virtual Character Expressions on Players' Engagement in a Game for Collecting Artwork Descriptions	共著	2022年8月	Proc. of the 2022 IEEE Conference on Games	Albertus Agung, Roman Savchyn, Pujana Paliyawan and Ruck Thawonmas	588-589	有
19	THAWONMAS Ruck	A Deep Reinforcement Learning Blind AI in DareFightingICE	共著	2022年8月	Proc. of the 2022 IEEE Conference on Games	Thai Nguyen, Xincheng Dai, Ibrahim Khan, Ruck Thawonmas and Hai V. Pham	632-637	有
20	THAWONMAS Ruck	Fighting-Game Gameplay Generation Using Highlight Cues	共著	2022年9月	IEEE Transactions on Games 14(3)	Ryota Ishii, Keita Fujimaki, Ruck Thawonmas	533-538	有
21	THAWONMAS Ruck	Impressions of the GDMC AI Settlement Generation Challenge in Minecraft	共著	2022年9月	Proc. of the 17th International Conference on the Foundations of Digital Games (FDG) 2022	Christoph Salge, Claus Aranha, Adrian Brightmoore, Sean Butler, Rodrigo Canaan, Michael Cook, Michael Cerny Green, Hagen Fischer, Christian Guckelsberger, Jupiter Hadley, Jean-Baptiste Herve, Mark R Johnson, Quinn Kybartas, David Mason, Mike Preuss, Tristan Smith, Ruck Thawonmas, Julian Togelius	1-16	有
22	THAWONMAS Ruck	Investigating The Influence of Survival Selection and Fitness Estimation Method in Genotype-based Surrogate-assisted Genetic Programming	共著	2022年11月	Artificial Life and Robotics	Tomohiro Harada, Sohei Kinjo, Ruck Thawonmas		有
23	THAWONMAS Ruck	Toward Dynamic Difficulty Adjustment with Audio Cues by Gaussian Process Regression in a First-Person Shooter	共著	2022年11月	Proc. of the 21st International Conference on Entertainment Computing (I CEC 2022), Bremen, Germany, Nov. 1-3, 2022, published in Lecture Notes in Computer Science, Goble et al. (Eds.) 13477	Xiaoxu Li, Marcel Wira and Ruck Thawonmas	154-161	有
24	THAWONMAS Ruck	Rap-Style Commentary Generation in an Audience Participation Fighting Game	共著	2022年11月	Proc. of 2022 IEEE Games, Entertainment, Media Conference	Thanat Jumneanbun, Marcel Wira, Pujana Paliyawa, Ruck Thawonmas, Kingkarn Sookhanaphibarn and Worawat Choonsawat	1-4	有

25	THAWONMAS Ruck	User Friendly Minecraft Mod for Early Detection of Alzheimer's Disease in Young Adults	共著	2022年11月	Proc. of 2022 IEEE Games, Entertainment, Media Conference	Satoko Ito, Marcel Wira, Ruck Thawonmas	1-4	有
26	THAWONMAS Ruck	Driving scenarios and environmental settings in simulator-based driving assessment systems for stroke: a systematic review	共著	2023年1月	Topics in Stroke Rehabilitation	Gunt Chanmas, Pittawat Tav eekitworachai, Pujana Paliyawan, Ramita Thawonmas, Ruck Thawonmas, Chakarida N ukoolkit, Piyapat Dajpratham	1-9	有
27	THAWONMAS Ruck	Artificial Reality: Immersive But Factually Dishonest AR Experience	共著	2023年1月	IEEE Consumer Electronics Magazine 12(1)	Max Lu, Davide Calandra, Ruck Thawonmas	8-11	有
28	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第五十四回(昭和二十一年十二月十五日から二十二年一月八日)	共著	2022年4月	京鹿子発行所、『京鹿子』、172	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子	pp. 31-44	無
29	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第五十五回(昭和二十二年一月九日から二十二年一月二十九日)	共著	2022年5月	京鹿子発行所、『京鹿子』、173	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子	pp. 28-39	無
30	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第五十六回(昭和二十二年一月三十日から二十二年二月二十四日)	共著	2022年6月	京鹿子発行所、『京鹿子』、174	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子	pp. 26-38	無
31	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第五十七回(昭和二十二年二月十五日から二十二年三月五日)	共著	2022年8月	京鹿子発行所、『京鹿子』、176	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子	pp. 35-39	無
32	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第五十九回(昭和二十二年三月六日から二十二年三月二十七日)	共著	2022年9月	京鹿子発行所、『京鹿子』、177	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子	pp. 32-42	無
33	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第六十回(昭和二十二年三月二十八日から二十二年四月十五日)	共著	2022年10月	京鹿子発行所、『京鹿子』、178	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子	pp. 30-40	無
34	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第六十回(昭和二十二年四月十六日から二十二年五月四日)	共著	2022年11月	京鹿子発行所、『京鹿子』、179	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子	pp. 33-42	無
35	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第六十一回(昭和二十二年五月五日から二十二年五月十四日)	共著	2022年12月	京鹿子発行所、『京鹿子』、180	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子	pp. 25-31	無
36	金子貴昭	立命館大学アート・リサーチセンターの板木コレクション	単著	2022年12月	立命館大学アート・リサーチセンター、『アート・リサーチ』、vol. 23-2		pp. 115-120	無
37	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第六十二回(昭和二十二年五月十五日から二十二年五月三十一日)	共著	2023年2月	京鹿子発行所、『京鹿子』、182	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子	pp. 33-42	無
38	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第六十三回(昭和二十二年六月一日から二十二年六月二十二日)	共著	2023年3月	京鹿子発行所、『京鹿子』、183	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子	pp. 26-40	無
39	斎藤進也	視覚情報に付随する“遊びにくさ”を解消するためのゲーム設計に関する探索的研究—調査用ゲームの制作を通じた音による操作支援の検討—	共著	2023年3月	立命館大学映像学会、『立命館映像学』第16号	長谷川綾音	pp. 23-63	有
40	李亮	Deep Learning-based Highlighting Visualization for Soft Edges in Large-Scale Scanned Point Clouds	共著	2023年3月	Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering, vol. 9, iss. 2	Weite Li, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Akihiro Tsukamoto, Hiroshi Yamaguchi, Fadj ar I. Thufail, Brahmantara, Satoshi Tanaka	pp. 278-288	有
41	李亮	Deep Learning in Cultural Heritage: Improving the Visualization Quality of 3D Digital Archives	共著	2022年11月	Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University, vol. 4	Jiao Pan, Weite Li, Liang Li, Kyoko Hasegawa, and Satoshi Tanaka	pp. 175-190	有
42	李亮	Semantic Segmentation for Digital Archives of Borobudur Reliefs Based on Soft-Edge Enhanced Deep Learning	共著	2022年11月	Remote Sensing, vol. 15, no. 4	Shenyu Ji, Jiao Pan, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Hiroshi Yamaguchi, Fadj ar I. Thufail, Brahmantara, Upik Sarjiati, and Satoshi Tanaka	956	有
43	長谷川恭子	Application of the Edge Upsampling Network to Soft-Edge Regions in a 3D-Scanned Point Cloud	共著	2022年10月	Communications in Computer and Information Science, vol. 1636	Weite Li, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Akihiro Tsukamoto, Yamaguchi Hiroshi, Fadj ar I. Thufail, Brahmantara, Satoshi Tanaka	pp. 11-18	有

44	長谷川恭子	Deep Learning-based Highlighting Visualization for Soft Edges in Large-Scale Scanned Point Clouds	共著	2022年11月	Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering, Vol.9, No.2	Weite Li, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Akihiro Tsukamoto, Yamaguchi Hiroshi, Fadjari I. Thufail, Brahmantara, Satoshi Tanaka	pp.278-288	有
45	長谷川恭子	Improving Depth Perception using Edge Highlighting in Transparent Stereoscopic Visualizations of Laser-Scanned 3D Point Clouds	共著	2022年12月	AsiaSim 2022: Methods and Applications for Modeling and Simulation of Complex Systems (CCIS, volume 1712)	Daimon Aoi, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Yuichi Sakanoo, Naohisa Sakamoto and Satoshi Tanaka	pp.622-631	有
46	長谷川恭子	3次元計測ビッグデータを活用した有形文化財の可視化——高精細可視化・半透明可視化・VR	共著	2023年3月	ART RESEARCH vol.23-3	長谷川 恭子, 李 亮, 田中 覚	pp.145-148	無
47	細井浩一	メタバースの基礎と本質的な特性について～ビジネスプラットフォームとしての可能性	単著	2022年6月	技術情報協会 研究開発リーダー 19(3)		38-42	有
48	細井浩一	産学公連携イベント「KYOTO HISTORICA」プロジェクトの起源と発展—「日本映画発祥の地、太秦を守る」ための映画祭と地域活性化政策—	共著	2023年3月	立命館大学映像学会 立命館映像学 16	細井浩一、中村彰憲		
49	細井浩一	メタバース上での「遊び」を媒介とした日本文化学習支援に関する研究	共著	2023年3月	立命館大学ゲーム研究センター Replaying Japan 5	稲葉光行、細井浩一、ラック・タウンマット、中村彰憲、上村雅之	27-33	
50	竹中悠美	FSA 写真アーカイブの政治性とその美学	単著	2022年6月	日本写真芸術学会日本写真芸術学会誌 31(1)	竹中悠美	26-32	
51	竹中悠美	日本通俗艺术中自然現象与自然災害的交界地帯：以浮世絵和纪实摄影集为例	単著	2022年8月	广西师范大学出版社东方丛刊 78	竹中悠美 (張憲訳)	121-140	
52	竹中悠美	Shadows of the Atomic Bombings in The Family of Man: The American photographic exhibition tour of Japan in the post-occupation period	単著	2022年12月	Bloomsbury: London, New York Marco Bohr ed., Culture Japan: Visual Culture and the Global Imagination from 1952 to the Present		158-178	
53	島川 博光	ストレス識別のためのウェアラブルセンサで計測可能な生体信号の評価	共著	2022年9月	システム制御情報学会論文誌, Vol. 35, No. 9	若林 直哉, 原田 史子	pp.88-99	有
54	孟林	The Early Japanese Books Reorganization by Combining Image Processing and Deep Learning	共著	2022.5	CAAI Transactions on Intelligence Technology	Bing LYE, Hengyi LI, Ami TANAKA, and Lin MENG,	17 pages	有
55	孟林	Dynamic Dataset Augmentation for Deep Learning-based Oracle Bone Inscriptions Recognition	共著	2022.12	Journal on Computing and Cultural Heritage	Xuebin YUE, Hengyi LI, Yoshiyuki FUJIKAWA, and Lin MENG	20 pages	有
56	孟林	敵対的生成ネットワークを用いた日本古典籍修復に関する試み	共著	2022.1	紀要「アート・リサーチ」	金子隼大, 孟林,	6 pages	有
57	三須祐介	Why Did the Chinese Opera Masters Make Movies and Phonograph Records: The Studying of Fixed Media in Traditional Chinese Opera	単著	2022年11月	Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University (4)		191-195	
58	三須祐介	明田川聡士著『戦後台湾の文学と歴史・社会：客家人作家・李喬の挑戦と二十一世紀台湾文学』（関西学院大学出版会、二〇二二）	単著	2023年1月	神戸大学中文研究会未名(40・41合併号)		19-31	
59	東野 陸	The Distribution of Wakobon Outside Japan: Through the Book Collection of Sir James Stewart Lockhart	単著	2023年4月	立命館大学アジア・日本研究所, Asia-Japan Research Academic Bulletin, Vol 4		未定	有
60	宮田悠史	地域におけるデジタルアーカイブによる経済波及効果の推計：地方自治体が草創期に構築したデジタルアーカイブを事例として	単著	2022年10月	アート・リサーチ、立命館大学アート・リサーチセンター、23巻(1号)		pp19-31	無

61	宮田悠史	「京都ニュースアーカイブ」の構築と公開：自治体映像資料の活用に向けた展望について	単著	2022年1月	デジタルアーカイブ学会誌、デジタルアーカイブ学会、6巻(s3号)		pp182-185	無
62	宮田悠史	地方自治体におけるデジタルアーカイブによる経済波及効果の推計：草創期の事例を対象として	単著	2022年6月	デジタルアーカイブ学会誌、デジタルアーカイブ学会、6巻(1号)			無
63	川嶋 將生	地主神社祭礼の神輿神幸と鉾	単著	2023年2月	『清水』227号		Pp48-60	無
64	常木佳奈	近代木版口絵画集・『小説挿画集』と『江戸錦』の位置づけ：明治中期における春陽堂の木版出版活動からの考察	単著	2023年3月	アート・リサーチ 23 (3)		pp. 127-136	有
65	安宅 望	『改正絵入南都名所記』考一—絵図屋庄八の小型案内記出版戦略	単著	2022年12月	紀要 アート・リサーチ 23-2号		pp. 71-80	有
66	嶋津麻穂	明治末期の戯曲と歌舞伎における淀君表象の変容—坪内逍遙と五代目中村歌右衛門を中心に—	単著	2023年3月	『Core Ethics』(Vol.19)		pp. 99-110	有
67	荒木慎太郎	音とイメージと身体表現に関する実践的研究—子どもの感性を育む表現指導のために—	共著	2023年3月	花園大学、福祉と人間科学、33号	田原昌子	pp. 81-86	無
68	荒木慎太郎	保育者を志望する学生への動画を活用した授業実践	共著	2023年3月	花園大学、花園大学文学部紀要、54号	笹谷絵里、山本清文		有
69	向江駿佑	「Jホラーゲーム」は可能か？—メタ・インターフェースと降霊としてのプレイ」	単著	2022年8月	青土社、『ユリイカ』54巻11号		pp. 271-280	無
70	中村由衣	<第104回 国際ARCセミナー(小出治都子氏) レビュー> 日本におけるゲーム展示の展望と課題	単著	2022年12月	立命館大学アート・リサーチセンター、アート・リサーチ、23巻2号		pp. 123-124	無
71	谷昇	谷昇「後鳥羽親政のはじまりと九条兼実による如意宝珠検封」(『立命館文学』682、2023年)	単著	2022年3月	立命館文学会		pp. 75-90	
72	塚本章宏	Deep Learning-based Highlighting Visualization for Soft Edges in Large-Scale Scanned Point Clouds,	共著	2022年10月	Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering, Vol.9, No.2,	Li Weite, Hasegawa Kyoko, Li Liang, Hiroshi Yamaguchi, I Fadjar, Thufail, Brahmantara and Tanaka Satoshi	pp. 278-288	有
73	塚本章宏	Application of the Edge Upsampling Network to Soft-Edge Regions in a 3D-Scanned Point Cloud	共著	2022年10月	Communications in Computer and Information Science, Vol.1636	Li Weite, Hasegawa Kyoko, Li Liang, Hiroshi Yamaguchi, I Fadjar, Thufail, Brahmantara and Tanaka Satoshi	pp. 11-18	有
74	本多健一	都市における氏子区域の歴史的考察—研究史の検討および中近世の事例をふまえて—	単著	2022年4月	歴史地理学会、歴史地理学、304号		pp. 18-35	有
75	本多健一	戦国・安土桃山期の大坂・堺における都市祭礼—天王寺土塔会を中心に—	単著	2022年4月	藝能史研究会、藝能史研究、237号		pp. 22-48	有
76	飯塚 公藤	瀬戸内海の交通史—室町時代から現代へ—	単著	2022年11月	地図情報 42巻3号		pp. 14-17	無
77	飯塚 公藤	「鴨川古写真GISデータベース」の構築に向けた現状と課題	共著	2022年12月	『人文科学とコンピュータシンポジウム2022 論文集』	飯塚公藤・谷端郷・大邑潤三・佐藤弘隆・島本多敬・前田一馬・鈴木康久	pp. 1-6	有
78	岩切友里子	アート・リサーチセンターと中井文庫の絵馬図絵集—『花洛絵馬評判』と『額面狂歌集』の紹介	単著	2023年2月	紀要 アート・リサーチ 23-3号		pp. 149-152	有
79	大西秀紀	京都のレコード会社 東洋蓄音器(オリエントレコード)について	単著	2023年3月	アート・リサーチ Vol. 23		pp. 81-95	無
80	大西秀紀	桂家残月とレコード吹込	単著	2022年12月	大阪府立上方演芸資料館令和3年度年報	荻田清	pp. 21-24	無
81	岩田 秀行	『名家書翰集』翻字資料掲載第2回	共著	2022年6月	近世文藝研究と評論の会、近世文藝研究と評論、第102号	早大手紙の会の一員として共著	pp. 9-30	無
82	岩田 秀行	『竺仙旅日記』伊香保紀行編	共著	2022年6月	太平書屋、太平餘興、第10集	竺仙旅日記研究会の一員として共著	pp. 1-22	無

83	岩田 秀行	『名家書翰集』 翻字資料掲載 第3回	共著	2022年11月	近世文藝研究と評論の会, 近世文藝研究と評論、第103号	早大手紙の会の一員として共著	pp. 1-39	無
84	岩田 秀行	『竺仙旅日記』 大師河原・江の島紀行編	共著	2022年12月	太平書屋, 太平餘興, 第11集	竺仙旅日記研究会の一員として共著	pp. 65-112	無
85	竹内千代子	『花供養』の入集者獲得一聞更から着虻へー	単	2023年3月	京都俳文学研究会会誌「俳文学研究」第79号	無	pp. 4-5	無
86	Timothy Thornburn CLARK	円山・四条「派」について (The Maruyama-Shijō 'school')	単著	2022年9月	サロン! 画と俗一京の大家と知られざる大坂画壇 (展覧会図録、京都国立近代美術館)	平井啓修	pp. 30-31	有
87	倉橋 正恵	『中村座日記』から見る文化十年の江戸歌舞伎	単著	2022年11月	歌舞伎学会、歌舞伎 研究と批評、67号		pp. 32-50	無
88	米倉迪夫	神護寺画像の美術史	単著	2022年4月	私家版 (PDF)			無
89	米倉迪夫	私解: 一遍聖絵 (1)	単著	2023年1月	私家版 (PDF)			無
90	Bergmann Anne gret	『浮世絵に映った明治時代の「忠臣蔵」』	単著	2023年3月31日	『忠臣蔵浮世絵国際シンポジウム 記録集』赤穂市教育委員会市史編さん室、赤穂市		pp. 27-31	無
91	笠井賢紀	基盤型アソシエーションとしての講一滋賀県栗東市目川の伊勢講勘定帳を読み解くー	単著	2022年12月	日本生活学会, 生活学論叢, 41号	笠井賢紀	pp. 15-29	有
92	笠井賢紀	栗東市域の小字データベース作成過程ー分割地名と集落小字名に着目した分析を添えてー	単著	2023年3月	栗東歴史民俗博物館, 栗東歴史民俗博物館紀要, 29巻	笠井賢紀	pp. 1-9	無
93	森慈尋	『江湖漂泊の記』	単	2022年10月	黄檗文華殿『黄檗文華』第141号 宗祖隠元禪師遠諱記念誌合併号			無
94	森慈尋	『榎尾山西明寺蔵『對州諸師和韵等』『五山諸徳香偈』翻刻と改題』 (共	2022年9月	学苑 昭和女子大学紀要第971・972号	関口静雄・高松世津子		有
95	Hans Bjarne Thomsen	“Japanese Reverse Glass Painting: The Other East Asian Tradition”	単著	2022年	In Francine Giese, Elisa Ambrosio, Alina Martimyanova, and Hans Bjarne Thomsen, eds., China and the West: Reconsidering Chinese Reverse Glass Painting.	Hans Bjarne Thomsen	pp. 175-194	有
96	Hans Bjarne Thomsen	“Exhibiting Japanese Art in the West 西洋における日本美術とその展示”	単著	2022年	in National Museum of Japanese History 国立歴史民俗博物館, ed. Kaigai de “Nihon” wo tenji suru koto: Zaigai shiryō chōsa kenkyū purojeku to hōkokusho 海外で《日本》を展示すること: 在外資料調査研究プロジェクト報告書 (English: Exhibiting “Japan” Overseas: A Report on the Research Project for Surveying Overseas Materials). Sakura, Japan: National Museum of Japanese History 国立歴史民俗博物館	Hans Bjarne Thomsen	pp. 107-122.	有
97	Hans Bjarne Thomsen	“Rimōto chōsa no kokoromi: chūrihi daigaku higashi ajiashi gakkai oyobi chūrihi kōka daigaku gurafikku korekushon リモート調査の試み: チューリッヒ大学東アジア美術史学科およびチューリッヒ工科大学グラフィックコレクション”	単著	2022年	in National Museum of Japanese History 国立歴史民俗博物館, ed. Kaigai de “Nihon” wo tenji suru koto: Zaigai shiryō chōsa kenkyū purojeku to hōkokusho 海外で《日本》を展示すること: 在外資料調査研究プロジェクト報告書 (English: Exhibiting “Japan” Overseas: A Report on the Research Project for Surveying Overseas Materials). Parts 1 and 2. Sakura, Japan: National Museum of Japanese History 国立歴史民俗博物館	Hans Bjarne Thomsen	pp. 145 and 197	有
98	Hans Bjarne Thomsen	“The Japanese Ceramic Collection of Ariana Museum アリアナ美術館の日本陶磁コレクション”	単著	2022年	In National Museum of Japanese History 国立歴史民俗博物館, ed. Kaigai de “Nihon” wo tenji suru koto: Zaigai shiryō chōsa kenkyū purojeku to hōkokusho 海外で《日本》を展示すること: 在外資料調査研	Hans Bjarne Thomsen	pp. 213-220	有

					究プロジェクト報告書 (English: Exhibiting "Japan" Overseas: A Report on the Research Project for Surveying Overseas Materials). Sakura, Japan: National Museum of Japanese History 国立歴史民俗博物館			
99	Hans Bjarne Thomsen	"Some Preliminary Thoughts on Japanese Woodblock Prints"	単著	2022年	In Susanne Pollack and Hans Bjarne Thomsen, eds., Lines from East Asia: Japanese and Chinese Art on Paper	Hans Bjarne Thomsen	pp. 16-25	有
100	Hans Bjarne Thomsen	Catalogue entries	単著	2022年	In Susanne Pollack and Hans Bjarne Thomsen, eds., Lines from East Asia: Japanese and Chinese Art on Paper	Hans Bjarne Thomsen	pp. 57-65, 79-84, 88-89, 95-100, 107-110, and 112-139	有
101	Hans Bjarne Thomsen	"Poésie de 'Surimono'"	単著	2022年	In Bénédicte de Donker and Christian Rümelin, eds., Surimono.	Hans Bjarne Thomsen	pp. 45-156	有
102	Hans Bjarne Thomsen	"In Praise of the Incomplete: Japanese Aesthetics of Fragments and Repairs"	単著	2022年	In Anna Schmid, ed., Fragments: Pots, Patchwork and Power Figures.	Hans Bjarne Thomsen	pp. 20-31	有
103	Hans Bjarne Thomsen	"Ein Lob auf das Unvollständige: Die japanische Ästhetik der Fragmente"	単著	2022年	In Anna Schmid, ed., Stüchwerk: Geflickte Krüge, Patchwork, Kraftfiguren	Hans Bjarne Thomsen	pp. 20-31	有
104	Hans Bjarne Thomsen	"17世紀から19世紀の日欧総理解" ("Comprehensive Understanding of Europe and Japan from the 17th to the 19th Centuries")	単著	2022年	In Bruno Richtsfeld, Udo Beireis, and Kaori Hidaka, eds., 『異文化を伝えた人々III:シーボルトの日本博物館』(Transmitters of Another Culture III: Siebold's Japan Museum). Kyoto: Rinsen Shoten	Hans Bjarne Thomsen	pp. 101-124	有
105	Hans Bjarne Thomsen	"Geschriebene und gemalte Kunst zwischen Innovation und Tradition / Brushed Arts in Japan between Innovation and Tradition"	単著	2022年	In Heinz Kroehl and Hans Bjarne Thomsen, eds., Der Atem Japans: Geschriebene und Gemalte Poesie, Japans Kunst der Gegenwart / The Breath of Japan: Written and Painted Poetry, Japanese Contemporary Art,	Hans Bjarne Thomsen	pp. 51-70	有
106	Hans Bjarne Thomsen	"Die Künstlerinnen und Künstler und Ihre Werke: Eine Übersicht / The Artists and Their Work: An Overview"	単著	2022年	In Heinz Kroehl and Hans Bjarne Thomsen, eds., Der Atem Japans: Geschriebene und Gemalte Poesie, Japans Kust der Gegenwart / The Breath of Japan: Written and Painted Poetry, Japanese Contemporary Art.	Hans Bjarne Thomsen	pp. 87-154	有
107	Hans Bjarne Thomsen	"Le troisième Genre : Existence entre les mondes masculin et féminin"	単著	January, 2023	MAGMAH: Journal de Musée d'Art et Histoire de Genève 3	Hans Bjarne Thomsen	pp. 74 & 103-4	有
108	Hans Bjarne Thomsen	"Utamaro und seine schönen Frauen: Aspekte der japanischen Frauen im achtzehnten Jahrhundert"	単著	October, 2022	Graphische Sammlung ETH Zürich, Blog	Hans Bjarne Thomsen	No pagination	有
109	上田 文	新穂にある土田麥僊の書簡とゆかりの作品	単著	2022年6月	佐渡郷土文化の会『佐渡郷土文化』159号	なし	pp. 19-21	無
110	上田 文	土田麥僊「金の表現」を通して見る画業の展開	単著	2022年9月	関西学院大学美学芸術学会『美学論究』第38編	なし	pp. 1-21	有
111	上田 文	川端龍子・土田麥僊より恩田耕作への書簡	単著	2022年10月	佐渡郷土文化の会『佐渡郷土文化』160号	なし	pp. 6-13	無
112	武藤祥子	伝統芸能資料「竹本床本」のデジタルアーカイブの書誌について	単著	2023年2月	『デジタルアーカイブ学会誌』7巻1号		pp. 24-27	無
113	森岡秀人	高松塚古墳発掘調査 50周年(2) 鎌倉時代盗掘時坑との苦闘	単著	2022年6月	(公財) 古代学協会、『古代文化』, 74巻1号		pp. 86-93	無
114	森岡秀人	叡福寺北古墳(皇太子聖徳太子磯長墓) 宮内庁書陵部墳丘	単著	2022年6月	(公財) 古代学協会、『古代文化』, 74巻1号		pp. 103-110	無

		事前発掘調査見学（限定公開）手記						
115	森岡秀人	高松塚古墳発掘調査 50 周年 (3) 極彩色壁画検出の顛末	単著	2022 年 9 月	(公財) 古代学協会、『古代文化』, 74 巻 2 号		pp. 132-138	無
116	森岡秀人	高松塚古墳発掘調査 50 周年 (4) 短時間に限られた石槨内部調査	単著	2022 年 12 月	(公財) 古代学協会、『古代文化』, 74 巻 3 号		pp. 136-143	無
117	森岡秀人	高松塚古墳発掘調査 50 周年 (5) 墳丘調査の知見と築造年代	単著	2023 年 3 月	(公財) 古代学協会、『古代文化』, 74 巻 4 号		pp. 119-127	無
118	森岡秀人	弥生時代後期から終末期の近畿社会と大中集落	単著	2023 年 3 月	兵庫県立考古博物館研究紀要 第 16 号			無
119	森岡秀人	弥生系高地性集落の再考論 (上) によせて	単著	2022 年 9 月	(公財) 古代学協会、『古代文化』 74 巻 2 号		pp. 42-45	有
120	森岡秀人	弥生系高地性集落の再考論 (下) によせて	単著	2023 年 3 月	(公財) 古代学協会、『古代文化』 74 巻 4 号		pp. 45-47	有
121	森岡秀人	特輯論攷の論点と総括、研究展望	単著	2023 年 3 月	(公財) 古代学協会、『古代文化』 74 巻 4 号		pp. 91-96	有
122	森岡秀人	弥生時代研究史—弥生時代・弥生文化とは—	単著	2023 年 3 月	弥生文化博物館研究報告 第 8 集		1 月 26 日	無
123	森岡秀人	弥生時代後期から終末期の近畿社会と大中集落	単著	2023 年 3 月	兵庫県立考古博物館研究紀要第 16 号		89-96	無
124	森岡秀人	高地性集落と紀伊産大和型庄内形甕の抽出	単著	2022 年 12 月	古墳出現期土器研究IX			無
125	佐藤泰裕	Measuring Discrimination in Spatial Equilibrium: 100 Years of Japan's Invisible Race	共著	2022 年 9 月	CIRJE Discussion Papers F-1188 (revised September 2022)	Atsushi Yamagishi, Yasuhiko Sato	pp. 1-113	無
126	永塚憲治	艶本『艶顔色鉢の木』に引用される『醫心方』房内について	単著	2022 年 6 月	日本医史学会関西支部、医譚、115 号		p. 10337-10344	有
127	永塚憲治	房中術に使われる生薬とその特徴：『素女妙論』の春薬を中心に	単著	2022 年 8 月	日本道教学会、東方宗教、139 号		p. 52-74	有
128	永塚憲治	<研究資料>宝暦・明和頃刊行の欠題艶本の解題と翻刻	共著	2022 年 11 月	日本文化研究センター、日本研究、65 号	上田眞生	p. 423-465	有
129	高橋彰	A Comprehensive Evaluation of Walkability in Historical Cities: The Case of Xi'an and Kyoto	共著	2023 年 3 月	Sustainability 15, no. 6: 5525	Yuan K, Abe H, Otsuka N, Yasufuku K, Takahashi A.	pp. 23	有
130	高橋彰	景観写真のデジタルアーカイブと活用方法	共著	2023 年 2 月	日本画像学会誌 62(1)	高橋 彰, 北本 朝展, 矢野 桂司, 佐藤 弘隆, 河角 直美	pp. 23-34	有
131	高橋彰	Developing a 3D Reconstruction of Pedestrian Street Networks in Large-Scale Urban Environments Using iPad-integrated LIDAR	共著	2022 年 11 月	Proceedings of the 22nd International Conference on Construction Applications of Virtual Reality	Muhammad Hegazy, Kensuke Yasufuku, Akira Takahashi	pp. 1036-1044	有
132	高橋彰	Digital Twin of Pedestrian Streets around the Stadium for Crowd Simulation	共著	2022 年 11 月	Proceedings of the 22nd International Conference on Construction Applications of Virtual Reality	Kensuke Yasufuku, Muhammad Hegazy, Akira Takahashi	pp. 803-811	有
133	高橋彰	京都の町並み保全・創造に関する地域学習へのメモリーグラフの適用性	共著	2022 年 11 月	建築学会、建築教育研究論文報告集 N022	高橋 彰, 北本 朝展, 矢野 桂司, 佐藤 弘隆, 河角 直美	pp. 49-56	有
134	高橋彰	Impact of the COVID-19 Pandemic on Walkability in the Main Urban Area of Xi'an	共著	2022 年 6 月	Urban Science 6(3) : 44	Kun Yuan, Hirokazu Abe, Noriko Otsuka, Kensuke Yasufuku, Akira Takahashi	pp. 17	有
135	高橋彰	EVALUATION OF UNDERGROUND SPACE FOR TSUNAMI EVACUATION SAFETY WITH ROUTE OBSTACLES BY AGENT-BASED SIMULATION	共著	2022 年 4 月	International Journal of GEOMATE 22(92)	Akira Takahashi, Kensuke Yasufuku, Hirokazu Abe	pp. 83-91	有
136	高須 奈都子	「明治時代の帯留」	単著	2022 年 11 月	女子美染織コレクション Part10 『きもの—江戸から明治の装い—』		pp. 48-53	無
137	福島幸宏	アーカイブズを巡る現状と課題	単著	2022 年 9 月	歴史学研究(1026)		pp. 16-25	無
138	福島幸宏	歴史学の変革は如何にして可能か：デジタル技術との関係から考える	単著	2022 年 5 月	洛北史学(24)		pp. 29-40	無

139	福島幸宏	討議 図書館における電子媒体資料の活用について：現状と今後の展望-特集 2022年度図書館学セミナー 図書館における電子媒体資料の活用について：現状と今後の展望	単著	2023/3/1	図書館界 74(6)		pp. 336-349	無
140	福島幸宏	記念講演 大学図書館のDX：デジタルアーカイブの構築と活用をめぐる-第83回(2022年度)私立大学図書館協会総会・研究大会 学生主体の教育への転換と大学図書館DX(デジタル・トランスフォーメーション)	単著	2023/2/1	私立大学図書館協会会報(159)		pp. 93-109	無
141	福島幸宏	「DX時代のアーカイビング」によせて	単著	2022年12月	アーカイブズ学研究(37)		pp. 62-64	無
142	福島幸宏	国立国会図書館長退任後の京都での活動	単著	2022年6月	デジタルアーカイブ学会誌 6(s1)		pp. s43-s44	無

(3). 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	鈴木桂子	「戦前の機械捺染：導入前夜から黄金期まで」	2022年10月	「明治初期の繊維産業における革新を考える一島田昌和編著『きものとデザイン：つくり手・売り手の150年』(ミネルヴァ書房 2020年)に焦点をあてて」、法政大学	
2	鈴木桂子	「江戸時代以降のコンタクト・ゾーンにおける「きもの」文化」	2022年11月	国際ワークショップ「幕末から明治期の京都の繊維産業を『J-InnovaTech』の観点から考える」、立命館大学	
3	鈴木桂子	【招待】“A Global History of Textiles”	2023年2月	International Colloquium Global Japan 50 ans, EHESS, Paris, France	
4	細井浩一	ゲームアーカイブの現状と課題	2022年11月	デジタルアーカイブ学会 産業とデータ・コンテンツ部会	
5	前田亮	固有表現抽出手法を用いた古典文書からの歌舞伎役者情報の自動抽出	2023年2月	第12回知識・芸術・文化情報学研究会, オンライン	三木 恵大, 赤間 亮
6	前田亮	事例ベース固有表現抽出を用いた古文からの歴史人物情報の抽出および活用	2023年3月	第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2023), 岐阜県岐阜市	苑 広媛, 李 康穎, 後藤真, 木村 文則
7	矢野健一	滋賀県米原市杉沢遺跡の縄文晩期土器棺・遺構分布状況—滋賀県米原市杉沢遺跡2020年発掘調査成果概要—	2022年4月	考古学研究会第68回総会・研究集会	矢野健一・林亮太・菅井佳穂・迫田圭一郎・立命館大学杉沢遺跡発掘調査団・米原市教育委員会
8	矢野健一	Uncovering Kyoto University: utilizing past reports to track occupational density over 10,000 years	2022年7月	Ninth Worldwide Conference of the Society for East Asian Archaeology	.NOXON, Corey Tyler
9	矢野健一	三内丸山遺跡における枝回転文土器の調査と土器製作季節の推定	2023年3月	令和4年度三内丸山遺跡特別研究報告会	
10	金子貴昭	江戸期高野版の板木—『宿曜経』(享保21年序)を中心に	2022年4月	第10回「仏教天文学説の起源と変容」研究会	
11	竹中 悠美	「ゼロ世代」WEBコンテンツ保存プロジェクト	2022年9月	ARC Days 2022	発表者: Wu Zewei 発表者: 中村 由衣
12	竹中 悠美	ARC データベースを活用した家庭内視覚文化論の試み	2022年9月	ARC Days 2022	発表者: 高橋千晶 発表者: 楊清发 発表者: 嶋津麻穂
13	竹中 悠美	ARC データベースを活用した家庭内視覚文化論の試み	2023年2月	2022年度成果発表会 / 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」・「日本文化デジタル・ヒューマンティース拠点」プロジェクト	発表者: 嶋津麻穂
14	竹中 悠美	「ゼロ世代」WEBコンテンツ保存プロジェクト	2023年2月	2022年度成果発表会 / 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」・「日本文化デジタル・ヒューマンティース拠点」プロジェクト	発表者: 中村由衣 発表者: WU Zewei
15	田中 覚	3次元計測点群を用いたボロブドゥール寺院のVR鑑賞システム	2022年8月	第50回可視化情報シンポジウム	鈴木康章, 長谷川恭子, 李亮, Thufail I. Fadjal

					, Riyanto Sugeng, Brahmantara, 山口欧志, 田中覚
16	田中 覚	RGB 色空間での主成分分析を用いた 3 次元点群データの色境界強調可視化	2022 年 8 月	第 50 回可視化情報シンポジウム	古家圭悟, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
17	田中 覚	High-Definition Contour Drawing for 3D Point-based Surfaces based on Adaptive Point Density Adjustment	2022 年 9 月	The 41th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2022)	Yukihiro Inada, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Satoshi Tanaka
18	田中 覚	Edge-Highlighting Visualization of 3D Scanned Point Cloud based on Adaptive Opacity Control	2022 年 9 月	The 41th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2022)	Takuto Nakayama, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Satoshi Tanaka
19	田中 覚	Feature Emphasis Visualization of 3D Measured Point Clouds by Proliferation using PCA	2022 年 9 月	The 41th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2022)	Takuto Sasano, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Satoshi Tanaka
20	田中 覚	大規模文化遺跡の 3 次元計測データに基づく可視化と VR	2022 年 9 月	第 95 回 CG・可視化研究会 (CAVE 研究会)	長谷川恭子, 李亮, 田中覚
21	田中 覚	3 次元計測ビッグデータを活用したポイントレンダリングによる可視化	2023 年 2 月	日本原子力研究開発機構・可視化講演会	田中覚
22	田中 覚	大規模海洋シミュレーションに基づく固有渦度を用いた渦分布可視化	2023 年 3 月	The 6th Visualization Workshop	有田さとる, 中田聡史, 神阪壮哉, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
23	田中 覚	等高線ナビゲーションを導入した當麻寺西塔の高品質点群 VR 観覧システム	2023 年 3 月	The 6th Visualization Workshop	小柴雄人, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
24	田中 覚	色と不透明度のグラデーションに基づく 3 次元計測点群のエッジ強調可視化	2023 年 3 月	The 6th Visualization Workshop	山田祐里, 田中覚, 長谷川恭子, 李亮
25	田中 覚	甲冑の 3 次元計測点群を用いた VR 空間内での特徴融合可視化	2023 年 3 月	The 6th Visualization Workshop	平川 拓, 長谷川 恭子, 李 亮, 田中 覚
26	THAWONMAS Ruck	対戦型格闘ゲームにおけるプレイヤーの感情状態に合わせた BGM の自動制御	2023 年 3 月	ゲーム学会第 21 回全国大会	田邊 准, Ruck Thawonmas
27	THAWONMAS Ruck	波動関数崩壊を用いる建築モデル生成の前処理におけるガウス過程回帰による最適化	2023 年 3 月	ゲーム学会第 21 回全国大会	ZHAO Shuang, THAWONMAS Ruck
28	斎藤進也	An Exploratory Research on Game Design that Supports Operation with Sound: Considering Production Process Through the Development of Videogame for Investigation	2022 年 8 月	Repalaying Japan 2022, Hotel Anteroom Kyoto	長谷川綾音
29	斎藤進也	3DCG spatial representation with partial scaling in response to viewpoint movement operations	2022 年 8 月	Repalaying Japan 2022, Hotel Anteroom Kyoto	岡田陸
30	斎藤進也	音による操作支援を中心としたゲーム設計に関する研究 -調査用アプリケーション制作を通じた考察-	2023 年 1 月	2022 年度立命館大学人間科学研究所年次総会, 立命館大学人間科学研究所, 立命館大学いばらきフューチャープラザ	長谷川綾音
31	斎藤進也	視点移動操作に対応した部分拡大縮小を行う 3DCG 空間表現	2023 年 1 月	2022 年度立命館大学人間科学研究所年次総会, 立命館大学人間科学研究所, 立命館大学いばらきフューチャープラザ	岡田陸
32	斎藤進也	京都ストリート文化アーカイブの構築と発信プロジェクト	2023 年 2 月	立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」プロジェクト成果発表会、立命館大学アート・リサーチセンター	竹田章作
33	斎藤進也	視覚障害の有無によらず使用しやすいゲーム UI デザインの検討	2023 年 3 月	視覚障害の有無によらず使用しやすいゲーム UI デザインの検討	長谷川綾音
34	斎藤進也	3DCG 空間において短時間で濃密な「旅」を体験できる移動システム	2023 年 3 月	3DCG 空間において短時間で濃密な「旅」を体験できる移動システムの検	岡田陸

		ムの検討		討	
35	李 亮	Feature Emphasis Visualization of 3D Measured Point Clouds by Proliferation using PCA	2022年9月	The 41st JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2022), Iizuka (online), Japan	Takuto Sasano, Kyoko Hasegawa, Liang Li, and Satoshi Tanaka
36	李 亮	Edge-Highlighting Visualization of 3D Scanned Point Cloud based on Adaptive Opacity Control	2022年9月	The 41st JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2022), Iizuka (online), Japan	Takuto Nakayama, Kyoko Hasegawa, Liang Li, and Satoshi Tanaka
37	李 亮	High-Definition Contour Drawing for 3D Point-based Surfaces based on Adaptive Point Density Adjustment	2022年9月	The 41st JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2022), Iizuka (online), Japan	Yukihiro Inada, Hiroki Ito, Yusei Takeuchi, Kyoko Hasegawa, Liang Li, and Satoshi Tanaka
38	李 亮	Opacity-Gradation-Based Visualization of Vortices for Large-Scale Ocean Simulation	2023年1月	21th Asia Simulation Conference (AsiaSim2022), China	Soya Kamisaka, Satoshi Nakada, Shintaro Kawahara, Hideo Miyachi, Kyoko Hasegawa, Liang Li and Satoshi Tanaka
39	李 亮	Improving Depth Perception using Edge Highlighting in Transparent Stereoscopic Visualizations of Laser-Scanned 3D Point Clouds	2023年1月	21th Asia Simulation Conference (AsiaSim2022), China	Daimon Aoi, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Yuichi Sakano, Naohisa Sakamoto and Satoshi Tanaka
40	李 亮	RGB 色空間での主成分分析を用いた3次元点群データの色境界強調可視化	2022年8月	可視化情報学会 第50回可視化情報シンポジウム, 工学院大学新宿キャンパス	古家 圭悟, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
41	李 亮	3次元計測点群を用いたボロブドゥール寺院のVR鑑賞システム	2022年8月	可視化情報学会 第50回可視化情報シンポジウム, 工学院大学新宿キャンパス	鈴木 康章, 李亮, 長谷川恭子, Thufail Fadjari I., Riyanto Sugeng, Brahmantara, 山口 欧志, 田中覚
42	李 亮	大規模海洋シミュレーションに基づく固有渦度を用いた渦分布可視化	2023年3月	可視化情報学会第6回ビジュアルセッションワークショップ, 神戸大学六甲キャンパス	有田さとる, 中田聡史, 神阪壮哉, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
43	李 亮	甲冑の3次元計測点群を用いたVR空間内での特徴融合可視化	2023年3月	可視化情報学会第6回ビジュアルセッションワークショップ, 神戸大学六甲キャンパス	平川 拓, 長谷川 恭子, 李 亮, 田中 覚
44	李 亮	色と不透明度のグラデーションに基づく3次元計測点群のエッジ強調可視化	2023年3月	可視化情報学会第6回ビジュアルセッションワークショップ, 神戸大学六甲キャンパス	
45	李 亮	等高線ナビゲーションを導入した當麻寺西塔の高品質点群VR観覧システム	2023年3月	可視化情報学会第6回ビジュアルセッションワークショップ, 神戸大学六甲キャンパス	
46	小寺未知留	Sound Artists in the Historiographies of Music: What Music Is and/or Isn't	2022年8月	21st Quinquennial Congress of the International Musicological Society, Athens	
47	島川博光	Estimating creativity drawing features from hand drawing logs	2022年12月	Proc. of 9th IEEE Asia-Pacific Conference on Computer Science and Data Engineering	Kohei Urayama, Fumiko Harada
48	島川博光	Analysis of Differences in Motivation Focusing on Differences in National Character	2022年12月	Proc. of 9th IEEE Asia-Pacific Conference on Computer Science and Data Engineering	Koki Matsuno
49	長谷川恭子	3次元計測点群を用いたボロブドゥール寺院のVR鑑賞システム	2022年8月	可視化情報学会 第50回可視化情報シンポジウム, Virtual Conference	鈴木康章, 長谷川恭子, 李亮, Thufail I. Fadjari, Riyanto Sugeng, Brahmantara, 山口欧志, 田中覚
50	長谷川恭子	RGB 色空間での主成分分析を用いた3次元点群データの色境界強調可視化	2022年8月	可視化情報学会 第50回可視化情報シンポジウム, Virtual Conference	古家圭悟, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
51	長谷川恭子	Feature Emphasis Visualization of 3D Measured Point Clouds by Proliferation using PCA	2022年9月	JSST2022, Virtual Conference	Takuto Sasano, Kyoko Hasegawa, Liang Li and Satoshi Tanaka
52	長谷川恭子	Edge-Highlighting Visualization of 3D Scanned Point Cloud based on Adaptive Opacity Control	2022年9月	JSST2022, Virtual Conference	Takuto Nakayama, Kyoko Hasegawa, Liang Li and Satoshi Tanaka
53	長谷川恭子	High-Definition Contour Drawing for 3D Point-based Surfaces based on Adaptive Point Density Adjustment	2022年9月	JSST2022, Virtual Conference	Yukihiro Inada, Kyoko Hasegawa, Liang Li and Satoshi Tanaka
54	長谷川恭子	【招待】ノイズ透明化による3次元計測点群データ高品質可視化	2022年9月	第95回CG・可視化研究会, オンライン	長谷川恭子, 李亮, 田中覚
55	長谷川恭子	特徴分布に基づく色空間経路を用いた3次元点群のエッジ強調可視化	2023年3月	第6回ビジュアルセッションワークショップ, 神戸大学 六甲キャンパス	山田祐里, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚

56	長谷川恭子	甲冑の3次元計測点群を用いたVR空間内での特徴融合可視化	2023年3月	第6回ビジュアルリゼーションワークショップ, 神戸大学 六甲キャンパス	平川拓, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
57	長谷川恭子	等高線ナビゲーションを導入した當麻寺西塔の高品質点群VR観覧システム	2023年3月	第6回ビジュアルリゼーションワークショップ, 神戸大学 六甲キャンパス	小柴雄人, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
58	三須祐介	被演繹的優伶: 従性別與政治的角度分析 電影中的戲曲表達	2022年6月	一葦百年國際學術研討會	
59	三須祐介	台湾における同志文学とサイノフオンの交差点	2023年3月	世界文学・語圏横断ネットワーク 第15回研究集会	
60	孟 林	条件付きCycleGANを用いた劣化くずし字の修復に関する試み	2023年5月	第132回人文科学とコンピュータ研究発表会, (亜細亜大学, 東京)	金子隼大, 石橋龍人
61	高橋千晶	「ARCデータベースを活用した家庭内視覚文化論の試み」共同報告	2022年9月	ARC Days 2022年度 研究拠点形成プログラム、於立命館大学、京都市	竹中悠美、小出治都子、嶋津麻穂、Yang Qingfa、張憲
62	小出 治都子	日本におけるゲーム展示の展望と課題	2022年6月	第104回国際ARCセミナー	
63	小出 治都子	ゲームとミュージアムのオモテウラ〜ゲーム資料のどう扱う?〜	2022年8月	Computer Entertainment Developers Conference 2022	尾鼻崇、應矢泰紀、中林寿文
64	小出 治都子	「文化資源」としてのビデオゲームの収集・保管・展示の課題と展望	2023年2月	日本デジタルゲーム学会 第13回年次大会	
65	宮田悠史	「京都ニュースアーカイブ」の構築と公開: 自治体映像資料の活用に向けた展望について	2022年11月	デジタルアーカイブ学会 第7回研究大会、琉球大学50周年記念館	
66	宮田悠史	地方自治体におけるデジタルアーカイブによる経済波及効果の推計: 草創期の事例を対象として	2022年6月	第2回DAフォーラム、オンライン開催	
67	宮田悠史	「京都ニュースアーカイブ」の構築と今後の展望	2022年7月	「京都ニュースアーカイブ」公開記念シンポジウム、オンライン開催	
68	常木佳奈	明治期における春陽堂の木版出版について: 口絵画集『小説挿画集』と『江戸鏡』の位置づけ	2022年5月	第102回国際ARCセミナー、立命館大学アート・リサーチセンター (Web配信)	
69	安宅 望	【「デジタル・ヒューマニティーズが拓く日本研究の新展開」 江戸勸進相撲の研究基盤整備	2022年12月	オンライン研究交流ワークショップ「デジタル・ヒューマニティーズが拓く日本研究の新展開」	
70	安宅 望	「近世後期における奈良の寺社の実相」—奈良奉行川路聖謨の日記『寧府紀事』から見えてくるもの	2023年1月	第114回 国際ARCセミナー	
71	安宅 望	文化資源を活かした奈良研究の可能性	2023年2月	第12回「知識・芸術・文化情報学研究会」	
72	嶋津麻穂	ARCデータベースを活用した家庭内視覚文化論の試み	2022年9月	ARC DAYS 2022, オンライン	竹中悠美, 高橋千晶, 楊清发
73	嶋津麻穂	五代目中村歌右衛門の淀君における〈ヒステリー〉の表現	2023年1月	院生コロキウム「ポストメディア時代における東アジアの文化芸術研究—テーマとパースペクティブ—」, 立命館大学	
74	嶋津麻穂	淀君の表象研究におけるARCデータベースの活用—五代目中村歌右衛門の資料を中心に—	2023年2月	「2022年度成果発表会」, オンライン	竹中悠美
75	荒木慎太郎	1970年代の東映の映画とドラマにおける〈番長〉の考察—拡張する〈不良性感度〉(口頭発表)	2023年1月	ポストメディア時代における東アジアの文化芸術研究—テーマとパースペクティブ[Graduate Students Colloquium Arts and Culture students of East Asia in the Post-Media Era—Themes and Perspectives]、AJI—日本・アジア研究所重点研究プログラム「ポストメディア時代における東アジアの文化芸術研究」ユニット・ARC—アートリサーチセンター研究拠点形成支援プログラム「ARCのデータベースを活用した家庭内視覚文化論の試み」プロジェクトの共催、立命館大学衣笠キャンパス、京都市	
76	荒木慎太郎	1970年代の東映について—変化するヒーロー像と実録への移行(口頭発表)	2022年11月	中部人間学会 第22回大会、オンライン開催、	
77	荒木慎太郎	保育者を志望する学生への動画を活用した授業実践—保育内容(健康)における「あそびックス(運動あそび)」の活用(ポス	2022年11月	対人援助学会第14回年次大会、オンライン開催	笹谷絵里、山本清文

		ター発表)			
78	向江駿佑	Don't Be Serious!: Towards Resurrection of Vice and Corruption of Gaming	2022年9月	Replaying Japan 2022, Online	
79	向江駿佑	「GX においてインタフェースはいかにあるべきか: 脱UX/UI に向けて」	2023年1月	「ポストメディア時代における東アジアの文化芸術研究 ―テーマとパースペクティブ―」	
80	中村由衣	ゼロ年代 WEB コンテンツ保存プロジェクト	2022年9月	ARC Days 2022、立命館大学アート・リサーチセンター、オンライン開催	プロジェクト代表者: 竹中 悠美 発表者: 中村 由衣 発表者: Wu Zewei
81	中村由衣	ゼロ年代 WEB コンテンツ保存プロジェクト	2023年2月	2022年度成果発表会/文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」・「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」プロジェクト、立命館大学アート・リサーチセンター、オンライン開催	プロジェクト代表者: 竹中 悠美 発表者: 中村 由衣 発表者: Wu Zewei
82	石上阿希	【招待】『訓蒙図彙』の出版と受容 ―近世の読書から「近世期絵入百科事典データベース」まで―	2022年1月	国際シンポジウム「The Commercialization of Knowledge in Edo Period Japan-Publishers, Editors, Print Products, and Their Impact on Pre-modern Cultural Life」ドイツ・ケルン	
83	山本 真紗子	「京都を起点とした染色技術及びデザインのグローバルな展開に関する研究」2022年度成果報告	2023年2月	立命館大学アート・リサーチセンター 日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点の成果発表会	上田 文
84	鹿内 菜穂	体育実技におけるオンラインヨガの主観的恩恵ーオンデマンド型授業と同時双方向型授業との比較検討ー	2022年9月	日本心理学会第86回大会, 日本大学, 世田谷区	
85	鹿内 菜穂	大学生審美系競技者における母娘間の心理的距離と心理的スキルとの関係	2023年3月	第27回総合学術文化学会学術研究会	
86	塚本章宏	ゼンリンミュージアム・山口県文書館所蔵の伊能図,	2022年9月	歴史地理学会、第65回、滋賀大学教育学部 (大津キャンパス)、大津市	平井 松午
87	飯塚 公藤	「鴨川古写真GISデータベース」の構築に向けた現状と課題	2022年12月	じんもんこん (人文科学とコンピュータシンポジウム) 2022, オンライン開催 (拠点: 千葉大学・国立歴史民俗博物館)	谷端郷・大邑潤三・佐藤弘隆・島本多敬・前田一馬・鈴木康久
88	岩切友里子	【招待】武者絵から広がる楽しみ	2022年9月	兵庫県立美術館	
89	大西秀紀	三光堂メノホンの歌舞伎レコード	2022年12月	歌舞伎学会秋季大会、オンライン	古川諒太、中野智博、児玉絵里子、高橋則子、加藤次直
90	Ellis TIN IOS	The use, reuse and abuse of printing blocks	15 Aug 2022.	Summer school: Reading early modern Japanese. Cambridge University.	
91	Ellis TIN IOS	From artist's sketches to printed image: an examination of Isai gashiki shita-zu	30 Sept 2022.	Arthur Tress and the Japanese illustrated book: a celebration. University of Pennsylvania.	
92	Ellis TIN IOS	The books that introduced Japanese graphic art to Western audiences, 1859-1861	15 Nov 2022.	ARC International Seminar Series	
93	Ellis TIN IOS	Pitfalls and Pleasures of digital engagement	04 Dec 2022	The Digital Turn in Modern Japanese Studies. Cambridge University.	
94	Ellis TIN IOS	Woodblock-printed images in early modern Japan	29 Mar 2023	Curating Prints. Getty & Print Quarterly sponsored five-day course. London and Windsor	
95	前崎信也	【招待】“Path to Japonisme: Development of Japanese Decorative Art in the 19th Century”	2022年6月9日	Symposium: When Japan Opened to the World: Cross-Cultural Influence in Arts, Crafts and Asia Society France and Literature in Europe and Japan in the 19th Century	François Lachaud, Jean-Michel Dumont, Arnaud Bertrand
96	廣瀬千紗子	享保期江戸の曾我狂言	2022年4月	芸能史研究会 オンライン開催	
97	松葉涼子	フキダシ以前の音声表現 (<i>Sound Expressions before Speech-bubbles</i>)	20 July 2022	講演、お茶の水女子「国際文化論」	
98	松葉涼子	To Open or Not To Open?	29 September 2022	THE ARTHUR TRESS COLLECTION OF JAPANESE ILLUSTRATED BOOKS Kislak Center, University of Pennsylvania Libraries workshop	

99	松葉涼子	The Impact of Kabuki on Visual Culture	5 November 2022	KABUKI in PRINT: Actor, Fans, Image, and Medium in Early Modern Japan and Beyond [symposium], Chica go University	
100	松葉涼子	Discussant for the online conference ‘The Digital Turn in Early Modern Japanese Studies: A Conference’	3 December 2022	Online, The Digital Turn in Early Modern Japanese Studies: A Conference	
101	Timothy Thorburn CLARK	<i>The Great Picture Book of Everything</i> and Late Hokusai Print Culture	2022年5月13日	Association of Print Scholars, New York	
102	Bergmann Annegret	「舞台芸術をコンテンツとした文化観光の可能性」	2022年5月27日	芸術文化観光専門職大学フォーラム 『芸術・文化×観光の社会的インパクト』兵庫県立美術館ミュージアムホール、神戸市	朱雀夏子
103	Bergmann Annegret	„Rasanter Wandel in der Welt des Kabuki durch die Corona-Pandemie“: [Rapid change in the world of Kabuki due to the Corona pandemic],	2202年8月25日	German Japanese Studies Conference, Heinrich-Heine-University, Düsseldorf, Germany (online)	
104	Bergmann Annegret	<i>Collaboration between Two Domed Arts in Post-War Japan: Kabuki and Nihonga.</i>	2022年9月3日	Japan: Pre-modern, Modern, and Contemporary, Dimitrie Cantemir Christian University, Bucharest, Romania (online)	
105	Bergmann Annegret	“COVID-19 Pandemic and the Performing Arts Production in Japan: Japan Performing Arts Foundation (NBS) as an Example” .	2022年9月21日	12 th International Conference on Cultural Policy Research, University of Antwerp, Antwerp, Belgium	
106	Bergmann Annegret	Korean Tea Bowls and Tea Connoisseurs in Japan During the 1920s	2022年11月26日	Collecting and Display of Korean Art in Global Perspective, 2022 Art History Association of Korea, International Conference, National Museum of Korea, Seoul	
107	Mohamed Soliman	Delineation of Historic Cairo Water System: A Medieval Water Management Approach	2022年6月23日	“Aqueducts, canals, qanats: construction and management of water conduits in the late antique and medieval periods” . Faculty of Arts, Department of History, Art History and Classics. Radboud University	
108	Mohamed Soliman	Sustainable Geodesign for Downtown Alexandria to Achieve the SDGs, Egypt Vision 2030	2022年11月29日	Sustainable Geodesign of Downtown Alexandria: Egypt Vision 2030” . E-JUST, Alexandria	
109	Mohamed Soliman	Adoption of The Interdisciplinary Approach and Advanced Techniques for The Sustainability of Cultural Heritage	2023年3月12日	Royal Jewellery Museum-MoTA, Conference Hall of ANM, Alexandria	
110	笠井賢紀	【招待】滋賀県栗東市の伊勢講勘定帳を読む	2022年4月	講研究会第115回例会（立教大学池袋キャンパス）	
111	笠井賢紀	伊勢講勘定帳から読み解く生活の周辺情報	2022年6月	日本生活学会第49回研究発表大会（亜細亜大学武蔵野キャンパス）	
112	笠井賢紀	非専門家による「住まいの記憶史」調査の実践	2022年6月	日本生活学会第49回研究発表大会（亜細亜大学武蔵野キャンパス）	竹山 和弘, 木村 敏
113	笠井賢紀	北海道開拓者とファミリーヒストリー	2022年6月	2022年度春季研究大会環境と平和分科会「パブリック・ヒストリーとヴァナキュラー」（東京農業大学オホーツクキャンパス）	
114	笠井賢紀	栗東歴史民俗博物館所蔵の地券取調総絵図の局地的歪みについて	2022年10月	地理情報システム学会第31回学術研究発表大会（沖縄）	玉川英則, 岡部佳世, 飯守光太郎, 飯田壮一郎, 高宮圭介, 花弁禮優大, 村林颯太, 中川敦之, 竹山和弘, 松本章伸
115	笠井賢紀	An Analysis of the Distribution of Small Place Names: The Case of Ritto City, Shiga Prefecture, Japan	2023年3月	American Association of Geographers, AAG 2023 Annual Meeting (Denver, Colorado)	
116	森慈尋	ARC 2022年度成果発表会		立命館 ARC（オンライン）	
117	Hans Bjarne Thomssen	“Global Encounters: the Banda Islands, the VOC, and a Simple Lacquer Box”	April 8-9, 2022	<i>International Symposium on Japanese Studies: Japan and the World - Revisiting Cultural Encounters in the Global Era</i> , Center for Japanese Studies at the University of	

				Bucharest, Bucharest, Romania	
118	Hans Bjarne Thomssen	“The Poetry of Surimono”	May 3, 2022	At the exhibition <i>Surimono</i> . Musée d’art et d’histoire de Genève, Geneva, Switzerland	
119	Hans Bjarne Thomssen	“Euroasian Cultural Exchange”	May 31, 2022	Chair of session at the <i>Ten Thousand Things</i> lecture series in honor of Professor Lothar Ledderose’s 80th Birthday. University of Heidelberg, Germany	
120	Hans Bjarne Thomssen	“The Cultural Salons of the Surimono”	June 16, 2022	Lecture at the occasion of the exhibition <i>Surimono</i> . Musée d’art et d’histoire de Genève, Geneva, Switzerland	
121	Hans Bjarne Thomssen	“Der europäische Barock und die japanische Kunst”	June 18, 2022	Invited lecture at the yearly meeting of the Swiss Japanese Society, Solothurn, Switzerland	
122	Hans Bjarne Thomssen	“The Subject of Japanese Art History – with a Focus on Woodblock Prints”	June 22-24, 2022	Invited lecture in the panel <i>Art History in Japan: Display. Difference. Diversity</i> , at the symposium <i>5th Swiss Congress for Art History</i> . Institute of Art History, University of Zurich, Switzerland	
123	Hans Bjarne Thomssen	“Japanese Prints in Geneva”	June 22-24, 2022	Invited paper in the round table session <i>Japanische Graphik in Schweizer Sammlungen</i> at the symposium <i>5th Swiss Congress for Art History</i> . Institute of Art History, University of Zurich, Switzerland	
124	Hans Bjarne Thomssen	“Reading East Asia through Art: A Contrarian Perspective アートで東アジアを読む: 臍曲がりの視点”	July 21, 2022	Invited lecture at the Waseda Institute for Advanced Study, Waseda University	
125	Hans Bjarne Thomssen	“What Are the Objects of Japanese Art History? 日本美術史の対象物は何か?”	July 14, 2022	Invited lecture at the Waseda Institute for Advanced Study, Waseda University	
126	Hans Bjarne Thomssen	“Reverse Glass Paintings: Other Asian Traditions”	September 9, 2022	Invited online presentation, Global Interchange: A Virtual Forum	
127	Hans Bjarne Thomssen	“Tracing the Reception of Japanese Art in the West: the Case of Monte Verità”	September 17, 2022	Invited paper at the ARC Days online symposium, Ritsumeikan University, Kyoto, Japan	
128	Hans Bjarne Thomssen	“Museums and Universities: Strategies of Collaboration”	October 13, 2022	invited keynote lecture at the international symposium <i>Museums: Adaptability and Resilience</i> . Fu Jen Catholic University, Taipei, Taiwan	
129	Hans Bjarne Thomssen	“Disaster and Art: Dealing with Catastrophes”	October 25, 2022	Invited presentation at the Ringvorlesung/lecture series <i>Ostasiatische Kunstgeschichte: Aktuelle Forschung in Europa / East Asian Art History: Current Research in Europe</i> , held at the Center for International Cooperation, Free University of Berlin, Germany	
130	Hans Bjarne Thomssen	“Cobwebs and Dust: Perspectives on Swiss Surveys of Early Modern East Asian Art”	November 10, 2022	Invited lecture at the workshop, <i>Perspectives on Early Modern Art: Current Research at Swiss Universities</i> . Art History Institute, University of Bern, Bern, Switzerland	
131	Hans Bjarne Thomssen	“Dealing with Disasters through Art: Japanese Artists and Their Strategies”	November 17, 2022	Invited lecture, Sainsbury Institute Online Third Thursday event. Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures, Norwich, UK	
132	Hans Bjarne Thomssen	“The Beauty of Imperfection: the <i>Kintsugi</i> in Japanese Art”	November 25, 2022	Invited presentation at the 7. Zurich Voice Conference, University Hospital of Zurich, Zurich, Switzerland	
133	Hans Bjarne Thomssen	“Academia and Museums: The Importance of Collaborative Projects”	January 28, 2023	Invited keynote speech at the symposium <i>Tracing the Reception of Japanese Art in the West: As Seen through Case Studies in Central Europe</i> . Online symposium in collab	

				oration with the Art Research Center of the Ritsumeikan University, Kyoto, Japan	
134	Hans Bjarne Thomsen	“Vortragsabend mit Prof. Dr. Hans Bjarne Thomsen (Universität Zürich): Nebenveranstaltung zur Sonderausstellung <i>UKIYO-E</i> ”	February 24, 2023	invited talk at the Japan Information and Cultural Center, Embassy of Japan, Bern, Switzerland	
135	森岡秀人	【招待】 弥生時代後期から終末期の弥生社会	2022年6月	大中遺跡とその時代—東播磨沿岸部の弥生集落—、兵庫県立考古博物館、播磨町	藤原玲史 池田毅 山中リュウ
136	永塚憲治	新出の曲直瀬流の養生書『攝生之常鑑』について	2022年11月	日本道教學會第七十三回大會	
137	永塚憲治	『僧尼孽海』成立小攷	2022年12月	日本医史学会関西支部秋季学術集会	
138	高橋彰	【招待】 景観写真のデジタルアーカイブの構築と地域学習への応用	2023年2月	第10回越境地域政策研究フォーラム、愛知大学	
139	高橋彰	Comparative study on spatial characteristics and walkability evaluation of historical areas based on deep learning of street-view image segmentation	2022年11月	AESOP Annual Congress 2022 Book of Abstracts 34(1), in Tartu, Estonia (online)	Kun Yuan, Kensuke Yasufuku, Hirokazu Abe, Noriko Otsuka
140	高橋彰	龍野伝統的建造物群保存地区における官民連携のまちづくりに関する研究	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集、オンライン	宗利 昌哉, 安福 健祐, 阿部 浩和
141	高橋彰	動物園の施設マネジメントにみられる社会教育性の実態と課題に関する研究	2022年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集、オンライン	布川 航平, 阿部 浩和, 安福 健祐
142	高須 奈都子	「小袖雛形を使わずし字習得のための初心者向けモジュール教材」	令和4年9月11日	同志社大学古典教材開発研究センター 第5回研究会 オンライン開催	
143	梅林勲	デジタルミレニアム以降のネットワークビジネスにおける(著作権)間接侵害の事例とカラオケ法理・規範的主体論、幫助行為論とその課題(まねきテレビ事件、録画ネット事件等を始めとして)	2022年10月19日	大阪企業法務研究会	
144	中川今日子	月岡芳年における戯画の変遷	2023年1月	ポストメディア時代における東アジアの文化芸術研究、立命館大学、京都市	ZHANG Xian, 川崎寧生
145	坂本苑珠	『少年ジャンプ』のバトルマンガにおける〈血〉の変遷	2023年1月	院生コロキウム 『ポストメディア時代における東アジアの文化芸術研究—テーマとパースペクティブ—』、立命館大学、京都市	Wu Zewei, 中川今日子, 嶋津麻穂, 川崎寧生, 向江駿佑, 藤本流位, 高畑和輝, 荒木慎太郎
146	村上佳奈子	【「秩父宮記念スポーツ博物館におけるデジタルアーカイブの実践」】	2023年2月	第12回 知識・芸術・文化情報学研究会	

(4). 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	国際ワークショップ「幕末から明治期の京都の繊維産業を『J-InnovaTech』の観点から考える」	衣笠キャンパス	2022年11月	13名	立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点 (ARC-iJAC)」
2	映画・テレビドラマ映像分析研究会 (院生プロジェクト)	衣笠キャンパス	2022年8月—2023年3月		
3	立命館大学文学部京都学専攻 成果報告会 「地域と学ぶ—「京都学フィールドワーク」での学び」	公益財団法人櫻谷文庫 (旧木島櫻谷家住宅) 画室	2022年11月	20名	立命館大学文学部京都学クロスメジャー
4	第129回人文科学とコンピュータ研究会 発表会	オンライン	2022年5月	参加者不明 発表件数13件	主催: 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会 (幹事)
5	第130回人文科学とコンピュータ研究会 発表会	オンライン	2022年8月	参加者不明 発表件数11件	主催: 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会 (幹事)
6	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2022」	オンライン	2022年12月	参加者156名	主催: 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会 (幹事, 審査委員会委員長)

				発表件数 48 件	
7	第 131 回人文科学とコンピュータ研究会 発表会	オンライン	2023 年 2 月	参加者不明 発表件数 8 件	主催：情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会（幹事）
8	フォーラム「地図・GIS の活用」×GIS DAY in 四国	徳島大学（常三島キャンパス）	2022 年 7 月 16 日	50 名	徳島地理学会
9	Green Tea for Peace III, the Japanese Tea Ceremony Workshop	Hebrew University of Jerusalem, Israel	May 20 - June 1, 2022	150 名	在イスラエル日本大使館
10	Digitising the Chiddingstone Castle Collection of Japanese Lacquer	Online, ARC and Chiddingstone Castle	2022 年 10 月	12 名	立命館大学アート・リサーチセンター、セインズベリー日本藝術研究所、チディングストーンキャンッスル
11	Digitising the tsuba collection at the British Museum	Online, British Museum	2023 年 1 月	10 名	立命館大学アート・リサーチセンター、セインズベリー日本藝術研究所、大英博物館
12	Generating 3D model for museums' collections using photo scanning technique	Akhenaton Museum, al-Minya	2023 年 3 月 7-9	15 名	Museums Sector (MoTA), ARC-Ritsumeikan University, JSPS
13	Sustainable Geodesign of Downtown Alexandria: Egypt Vision 2030	E-JUST, Alexandria	2022 年 11 月 29-30	40 名	ARC-Ritsumeikan University, E-JUST, JSPS
14	Generating 3D model using photo scanning technique at the time of crisis: Applied on Kyoto City Archaeological Museum Collection	General Union of Arab Archaeologists, GUAA, Cairo	2022 年 6 月 28-30	23 名	General Union of Arab Archaeologists (GUAA), ARC-Ritsumeikan University, NRIAG, JSPS
15	<i>Tracing the Reception of Japanese Art in the West: As Seen through Case Studies in Central Europe</i>	Ritsumeikan University	January 28, 2023		Art Research Center of the Ritsumeikan University
16	アフリカ×日本「アレワ紡の時代—ナイジェリアと日本の繊維生産 1963-2005」展	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	2023 年 1 月 10 日～2 月 17 日	800 名	京都工芸繊維大学美術工芸資料館および立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際研究拠点」2022 年度 国際共同研究採択課題「新しい近代京都機械捺染史構築に向けて—近代デザインと産業史をむすぶデジタル・アーカイブを一助として—」
17	トークショー〈アレワ紡の時代を語る〉	京都工芸繊維大学 創立 60 周年記念館	2023 年 1 月 27 日	68 名	同上
18	科研 基盤研究 B 『弥生時代高地性集落の列島の再検証』 第 5 回研究会	(公財) 古代学協会	2022 年 8 月	30 名	
19	科研 基盤研究 B 『弥生時代高地性集落の列島の再検証』 第 6 回研究会	(公財) 古代学協会	2023 年 3 月	30 名	

(5). その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	細井浩一	【学術展示】「ファミコンとその時代」展	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター 附属仮想博物館（ARC/VM）」	2021 年 3 月～現在
2	細井浩一	【学術展示】ゲーム展 Ten	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター 附属仮想博物館（ARC/VM）」	2018 年 3 月～現在
3	細井浩一	【学術展示】Ludo-Musica III ～音楽からみるビデオゲーム～	オンライン	2023 年 2 月～3 月
4	細井浩一	メタバースの基礎知識と今後の展望～ビジネスチャンスと事業構想に際して知っておくべきこと～	情報機構・研究開発セミナー	2022 年 5 月
5	細井浩一	メタバースについてビジネスプレイヤーが考えなければならないこと～古くて新しい“仮想空間”で、何が、どのように始まっているのか	「週刊 BCN」オンラインセミナー	2022 年 7 月
6	細井浩一	各種メタバースのコアな可能性と限界～メタバースとは何か？その歴史と経験を踏まえた 新たなチャンスと前提条件	ICT 戦略特別セミナー	2022 年 9 月
7	細井浩一	ゲームという体験をどう保存するか ～企業・美術館・研究機関、それぞれのアプローチ～	Art Collaboration Kyoto (ACK)	2022 年 11 月
8	金子貴昭	板木の諸相—近世出版における板木の役割	日本書籍出版協会京都支部 第 17 回文化講演会	2022 年 11 月 12 日
9	金子貴昭	板本の板木、版画の板木	オンラインシンポジウム「常磐津浄瑠璃本の板木研究をめぐって—演劇博物館所蔵坂川屋旧蔵資料より—」	2022 年 11 月 26 日
10	竹中 悠美	The exchange program of The Gerda Henkel Network for East Asia art history によるドイツでの美術館と国際芸術祭の調査	Kunsthistorisches Institut, Freie Universität Berlin	2022 年 8 月～2022 年 8 月

11	竹中 悠美	院生コロキウム 「ポストメディア時代における東アジアの文化芸術研究 テーマとパースペクティブ」 組織・司会	立命館大学衣笠キャンパス+Zoom	2023年1月～2023年1月
12	THAWONMAS Ruck	Fighting Game Research Through a Competition Platform	APNNS/IEEE-CIS Education Forum Series: Deep Learning and Artificial Intelligence Summer School 2022 (DLAI6)	2022年6月
13	三須祐介	台湾文學與日語／日本 從我的翻譯經驗談起		2022年9月
14	三須祐介	台湾現代文学における「鬼」の形象 —陳思宏『鬼地方』を手がかりに—	2022年度国際言語文化研究所連続講座 人間と人間でないもの(ノンヒューマン)の相互作用 第1回 台湾の「妖怪」と「幽霊」—文学と歴史、アイデンティティをめぐって—	2022年10月
15	三須祐介	戦後台湾の社会運動と文芸作品 :セクシュアル・マイノリティをめぐる問題を中心として		2023年1月
16	小出 治都子	文化庁主催「Ludo-MusicaⅢ」Stage3キュレーション	オンライン展示	2023年2月9日-3月31日
17	小出 治都子	文化庁主催「MAGMA sessions2022」内「メディア芸術分野におけるインストールと人材育成」登壇	YouTube	2023年2月22日
18	荒木慎太郎	大阪日日新聞「美術いま関西で」コラム執筆「アベンジャーズ展—ヒーロー世界と「映画の街・京都」の関係性」	大阪日日新聞、コラム「美術いま関西で」、9月27日掲載	2022年7月—2022年9月
19	荒木慎太郎	出版物『音とイメージと身体表現に関する実践的研究—子どもの感性を育む表現指導のために—』映像教材制作、映像監督・映像制作・構成・撮影(音楽教員と共同)	和泉出版、2022年5月5日出版、オンライン映像教材	2021年4月—2022年5月
20	向江駿佑	「ゲームをどう片づける? 新しい遊び方を見つける「アーカイブ化」のすすめ」	リアルサウンド テック	2022年6月
21	向江駿佑	「芸術顕彰の役割と意義とは? 文化庁『メディア芸術祭』終了によせて」	リアルサウンド テック	2022年9月
22	石上阿希	「シンポジウム 「(見せる/魅せる) 近世文学」 傍聴記」	『近世文藝』116号、pp.59-68	2022年7月
23	石上阿希	「小袖雛形本のデザインと言葉を読み解く」全2回	東京都立大学オープンユニバーシティ 『『デザイン』の力』を考える特別編	2022年6月10日 - 2022年6月17日
24	石上阿希	【招待】『江戸』の継承」	東京伝統木版画工芸協同組合 鳥居清長「袖の巻」復刻完成記念講演会	2022年10月1日
25	石上阿希	【招待】「春画は楽しい!おもしろい!」	港区立伝統文化交流館 港区立伝統文化交流館 講座	2022年10月3日
26	石上阿希	【招待】「春画 笑いの文化」	大阪狭山市熟年いきいき事業実行委員会 熟年大学公開講座	2023年2月17日
27	山本 真紗子	「コラム・近代文化と「唐物」」	河添房江・皆川雅樹編『「唐物」とは何か—舶載品をめぐる文化形成と交流—』(アジア遊学275)、勉誠出版、2022年10月、pp285~290	2021年12月~2022年5月
28	山本 真紗子	「夏雪軒コレクションの概要」	『紀要 アート・リサーチ』23-2号、2022年12月公開	2022年6月~2022年11月
29	鹿内 菜徳	武蔵野市地域五大学共同講演会 【招待講演】はじめてのシニアヨガ—フレイル予防からみるヨガの効果—	亜細亜大学	講演日:2022年10月11日
30	鹿内 菜徳	【招待講演】神奈川体育学会研究奨励賞受賞講演】ヨガにおける太陽礼拝が気分および覚醒の変化に与える効果	オンライン	講演日:2022年10月15日
31	大西秀紀	映画館で流れた音	ボン大学片岡コレクション研究会(オンライン)	2022年8月27日
32	大西秀紀	五代目笑福亭松鶴の天王寺詣り	大阪府立上方演芸資料館	2023年2月4日
33	亀田和子	Imagery of the Orchid Pavilion Gathering	Center for Japanese Studies, University of Hawaii at Manoa Campus, Moore Hall 258	March 30, 2023
34	亀田和子	Green Tea for Peace Project in Israel: falsifications of media report and the real situation	Mokuyō gosankai at the Makiki Church	November 17, 2022
35	MARCEAU, Lawrence E	ラジオ番組出演 Nights with Karyn Hay (Radio New Zealand 国営放送) “Japanese yokai monsters march through Tamaki Makaurau”	ニュージーランド国、ウェリントン市(全国放送+オンライン) https://www.rnz.co.nz/national/programmes/nights/audio/2018862423/japanese-yokai-monsters-march-through-tamaki-makaurau	2022年10月12日 21:30~22:00(現地時間)
36	前崎信也	展覧会監修 「南画はたのしい」展	会場:新文化ビルディング Gallery Neutral	会期:2023年1月21日~2月12日
37	廣瀬千紗子	日本近世文学会創立七十周年記念シンポジウム「独自進化する? 日本近世文学会の研究—回顧と展望—」ディスカッサント	日本近世文学会春季大会 中京大学オンライン会場	2022年6月11日発行
38	廣瀬千紗子	行方知れず(「私の研究履歴」)	『雅俗』21 復刊十周年記念号(九州大学文学部)	2022年7月15日発行
39	廣瀬千紗子	増穂残口夫妻の墓石、再び発見の記	『雅俗悼辞』中野三敏先生を偲ぶ会(九州大学文学部)	2022年11月27日発行

40	廣瀬千紗子	日本近世文学会創立七十周年記念シンポジウム 管見	『近世文藝』117号 (日本近世文学会)	2023年1月15日発行
41	廣瀬千紗子	同志社女子大学の部活動と伝統芸能	『講演記録』同志社女子大学史料センター(【招待】講演 2022年12月1日於:同志社女子大学楽真館)	2023年3月31日発行
42	上田 文	「ナイジェリアに根付いた京の染め」	京都新聞 文化面	2023年1月24日朝刊
43	上田 文	「アフリカに根付いた京の染め」	京都新聞 1面	2023年1月31日夕刊
44	井川繭子	連載記事:「松竹大谷図書館名品展」	「歌舞伎特選DVDコレクション」アセット・コレクションズ・ジャパン 奇数号 計12回掲載	2022年4月~2023年3月(月1回)
45	井川繭子	連崎記事「松竹大谷図書館の名品」	『歌舞伎座筋書』2022年4~10月掲載	2022年4~10月
46	佐々木絵理	連載記事:「松竹大谷図書館名品展」	「歌舞伎特選DVDコレクション」アセット・コレクションズ・ジャパン 奇数号 計12回掲載	2022年4月~2023年3月(月1回)
47	佐々木絵理	連崎記事「松竹大谷図書館の名品」	『歌舞伎座筋書』2022年4~10月掲載	2022年4~10月
48	佐々木絵理	展示:—シネマ歌舞伎公開記念—『桜姫東文章』の世界	松竹大谷図書館 閲覧室	2022年5月2日~6月29日
49	佐々木絵理	報道発表:松竹大谷図書館デジタルアーカイブ 芝居番付検索閲覧システム公開	東京新聞、読売新聞、歌舞伎美人HP ニュースページ、歌舞伎 on the web、えんぶの情報サイト 演劇キック、SPICE エンタメ特価型情報メディアスペース、THE SANKEI NEWS、YAHOO! ニュース	2022年7月1日~8月8日
50	佐々木絵理	展示:近代の團十郎 九代目から十二代目の軌跡	松竹大谷図書館 閲覧室	2022年10月28日~12月23日
51	佐々木絵理	展示:黙阿弥尽くし!—河竹黙阿弥没後130年—	松竹大谷図書館 閲覧室	2023年1月11日~3月1日
52	武藤祥子	連載記事:「松竹大谷図書館名品展」	「歌舞伎特選DVDコレクション」アセット・コレクションズ・ジャパン 奇数号 計12回掲載	2022年4月~2023年3月(月1回)
53	武藤祥子	連崎記事「松竹大谷図書館の名品」	『歌舞伎座筋書』2022年4~10月掲載	2022年4~10月
54	永塚憲治	医学図書館探訪	医薬の門 計4回掲載	2022年6月~2023年3月
55	高橋彰	シリーズ南海トラフ巨大地震 もしも地下にいたら避難は	NHK ほっと関西、金5時	2023年3月9日、10日

(6). 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	田中 寛	高エネルギー加速器研究機構・高エネルギー加速器科学研究奨励会	諏訪賞	放射線シミュレータ Geant4	2022年5月
2	田中 寛	Federation of Asia Simulation Societies (ASIASIM)	The 21th Asia Simulation Conference Best Paper Finalist Award	Opacity-Graded Visualization of Vortices for Large-Scale Ocean Simulation	2023年1月
3	田中 寛	可視化情報学会	[学生の受賞] 最優秀ポスター賞(学部生)	大規模海洋シミュレーションに基づく固有渦度を用いた渦分布可視化	2023年3月
4	THAWONMAS Ruck	10th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE)	IEEE GCCE 2021 Excellent Demo! Award, Gold Prize	Toward a PCG-Driven 3D Game for Preclinical Detection of Dementia	2022年6月
5	李 亮	Federation of Asia Simulation Societies (ASIASIM)	Best Paper Finalist Award	Opacity-Graded Visualization of Vortices for Large-Scale Ocean Simulation	2023年1月
6	李 亮	可視化情報学会第6回ビジュアルリゼーションワークショップ	最優秀ポスター賞(学部生)	大規模海洋シミュレーションに基づく固有渦度を用いた渦分布可視化	2023年3月
7	鹿内 菜穂	神奈川体育学会	研究奨励賞	ヨガの太陽礼拝が気分および覚醒の変化に与える効果	2022年10月
8	塚本章宏	地理情報システム学会	ポスターセッション賞	係留気球と無人航空機を活用した災害対応情報支援システムの構想	2022年10月
9	塚本章宏	NCC / 北米日本研究資料調整協議会	Comprehensive Digitization and Discoverability	Film Cycle Project: Learning about Japan through	2023年3月

			lity Program: CDDP Award Program	the Digital Archive Technology	
10	亀田和子	Toshiba International Foundation 東芝国際交流基金 https://www.toshibafoundation.com/grant/program-research.html	Research and Related Activities Grant	Green Tea for Peace III, the Japanese Tea Ceremony Workshop	April 15, 2022
11	亀田和子	Metropolitan Center for Far East Asian Art Studies	Individual Grant for Publication Support	Imagery of the Orchid Pavilion	August 2022
12	村島彩加	サントリー文化財団	サントリー学芸賞 (芸術・文学部門)	舞台の面影 -演劇写真と役者・写真師-	2022年12月
13	村島彩加	国際演劇批評家協会日本センター	AICT 演劇評論賞	舞台の面影 -演劇写真と役者・写真師-	2023年3月

(7). 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	鈴木桂子	「きもの」文化から視るグローバル・ヒストリー—染色技術・デザイン・製品を中心に—	基盤研究(C)	2021年4月	2025年3月	代表
2	鈴木桂子	「染色デザインの世界的連環—「きもの」文化を中心に—	基盤研究(C)	2018年4月	2023年3月	代表
3	細井浩一	仮想空間を媒介とした日本文化に関する状況学習支援環境に関する総合的研究	基盤研究(B)	2020年4月	2025年3月	分担
4	細井浩一	日本文化資源としてのゲームデータベースのデータ設計と継続的構築に関する研究	基盤研究(C)	2021年4月	2024年3月	代表
5	前田 亮	日本文化デジタルアーカイブへの多言語統合アクセスの研究	基盤研究(C)	2020年4月	2023年3月	代表
6	金子貴昭	村上家文書を活用した17～19世紀出版システムの再検討	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	代表
7	田中 寛	ノイズロバストな透視可視化に基づく、大規模文化遺産の3次元計測ビッグデータ活用	国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化) (B)	2019年10月	2023年3月	代表
8	田中 寛	実世界大規模構造物の形状理解のための、3次元計測ビッグデータの超高精細可視化	基盤研究(A)	2021年4月	2024年3月	代表
9	斎藤進也	インタラクティブ CG 技術を用いた質的調査法の拡張に関する研究	基盤研究(C)	2020年4月	2023年3月	代表
10	斎藤進也	ゲーム芸術とアニメ芸術の倫理 社会的義務の記録と実装	挑戦的研究(萌芽)	2020年4月	2023年3月	分担
11	斎藤進也	昭和期の映画館文化に関するノンフィルム資料アーカイブの構築	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	分担
12	斎藤進也	学術成果の発信のための仮想展示環境に関する研究	基盤研究(C)	2023年4月	2026年3月	代表
13	李 亮	3次元画像認知メカニズムの解明へ向けた実験基盤の構築とその応用	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	代表
14	李 亮	実世界大規模構造物の形状理解のための、3次元計測ビッグデータの超高精細可視化	基盤研究(A)	2021年4月	2025年3月	分担
15	李 亮	ノイズロバストな透視可視化に基づく、大規模文化遺産の3次元計測ビッグデータ活用	国際共同研究加速基金(B)	2019年10月	2023年3月	分担
16	小寺未知留	マックス・ニューハウスをめぐる音楽とサウンド・アートの境界線	若手研究	2019年4月	2023年3月	代表
17	島川博光	計算論的思考育成のための状態空間モデルを用いたプログラミング上の見通しの検知	基盤研究(B)	2022年4月	2025年3月	代表
18	東野 陸	和刻本漢籍のパーспекティブ	若手研究	2020年4月	2024年3月	代表
19	常木佳奈	口絵デジタルアーカイブ拡充と明治期出版文化研究への活用	研究活動スタート支援	2020年9月	2024年3月	代表
20	山本 真紗子	「京都の伝統的美術工芸の近代化に関する総合的研究」	基盤研究(B)	2020年4月	2023年3月	分担
21	山本 真紗子	「近代の美術普及史—百貨店美術部と美術商を中心に—」	特別研究員奨励費	2021年4月	2024年3月	代表

22	鹿内 菜穂	ヨガによる姿勢、重心、身体動揺の変化に関する研究	若手研究	2020年4月	2024年3月 ※期間延長	代表
23	鹿内 菜穂	伝統芸能ビッグデータ構築による無形文化財の保存・解析・共有手法の開発	基盤研究(B)	2020年4月	2024年3月	分担
24	塚本章宏	観光資源の発掘・再評価・機械学習による写真共有 SNS 分析を軸として	基盤研究(C)	2019年4月	2024年3月	分担
25	塚本章宏	防災・災害復興に向けた地図・絵図資料の歴史 GIS データ化	基盤研究(B)	2020年4月	2025年3月	分担
26	塚本章宏	近代地図の発展過程における伊能図の役割に関する歴史 GIS 研究	基盤研究(C)	2020年4月	2024年3月	代表
27	飯塚 公藤	日英における近代水陸交通の地域的変化に関する歴史 GIS 研究	若手研究	2021年4月	2025年3月	代表
28	飯塚 公藤	没入型景観を構成する曲線の定式化手法の開発 一人の視覚特性に着目して	基盤研究 C	2020年4月	2023年3月	分担
29	大西秀紀	「内外・タイヘイレコードのディスコグラフィ作成	基盤研究(C)	2021年4月	2024年3月	代表
30	竹内千代子	近世後期京都の芭蕉顕彰俳諧の研究	基盤研究(C)	2020年4月	2024年3月	代表
31	笠井賢紀	縮小・高齢社会のレジリエンスに貢献する高齢者の生活経験の質的研究	学術変革領域研究(A)公募研究	2021年9月	2023年3月	代表
32	笠井賢紀	伊勢参宮ツーリズムの近代史に関する学際的研究研究課題	基盤研究(B)	2021年4月	2024年3月	分担
33	笠井賢紀	「家屋を取り巻く生活史調査」方法論の構築——住み継ぐ実践に向けた実証研究——	基盤研究(C)	2020年4月	2023年3月	代表
34	森岡秀人	弥生時代高地性集落の列島の再検証	基盤研究(B)	2020年4月	2024年3月	代表
35	高橋彰	「景観まちづくり史」研究の概念構築と体系化に関わる基礎的研究	基盤研究(C)	2021年4月	2024年3月	分担
36	高橋彰	京都市都心部の密集市街地における連担京町家が作る共創的路地空間の維持・継承	若手研究	2021年4月	2024年3月	代表
37	福島幸宏	現実世界と電子世界の融合で被災地復興に寄与する次世代 MLA	基盤研究(A)	2022年4月	2027年3月	分担
38	福島幸宏	紀伊半島の海付集落を対象とする社会・空間・被災史デジタルアーカイブの構築と公開	基盤研究(B)	2021年4月	2025年3月	分担
39	福島幸宏	公共図書館の多様な活動を評価する統合的指標の開発	基盤研究(B)	2019年4月	2024年3月	分担

(8). 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	赤間亮	古文書・古典籍の読解(くずし字解読)を通じた日本学研究者(とくに若手研究者)の国際交流事業	「国際日本研究」コンソーシアム事業	2022年度	2023年度	代表
2	赤間亮	上方文化サロン:人的ネットワークから解き明かす文化創造空間 1780-1880	JSPS 国際共同研究事業 英国との国際共同研究プログラム(JRP-LEAD with UKRI)	2021年度	2024年度	代表
3	赤間亮	玉置神社社務所の3次元計測 玉置神社の3次元計測・高精細3次元 CG/VR コンテンツの作成	奈良県文化・教育・くらし創造部なら歴史芸術文化村 奈良県伝統文化親子体験キャラバン実行委員会	2022年度	2022年度	代表
4	赤間亮	染織品のデジタルデータの取得、カタログ化による運用手法に関わる助言、技術指導	廣田細株式会社	2022年度	2022年度	代表
5	赤間亮	国立音楽大学付属図書館所蔵 近世邦楽資料(竹内道敬文庫)の研究活用のためのデジタルアーカイブの構築と公開手法に関する研究	国立音楽大学付属図書館	2022年度	2022年度	代表
6	赤間亮	『忠臣蔵』関連浮世絵のデジタル化とデータベース化に関する研究	赤穂市	2022年度	2022年度	代表
7	赤間亮	スポーツデジタルアーカイブの構築	独立行政法人日本スポーツ振興センター 秩父宮記念スポーツ博物館	2022年度	2022年度	代表
8	赤間亮	Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures	SISJAC	2022年度	2022年度	代表
9	赤間亮	奨学寄附金	株式会社キョーテック	2022年度	2022年度	代表

10	矢野健一	三内丸山遺跡における枝回転文土器の調査と土器製作季節の推定	令和4年度三内丸山遺跡特別研究(公募研究)	2022年4月	2023年3月	代表
11	島川博光	呼吸器専門医不足を解消するAI聴診支援クラウドとAI聴診スコープの研究開発	令和4年度中小企業経営支援等対策費補助金(成長型中小企業等研究開発支援事業)	2022年7月	2025年3月	分担
12	小出治都子	ゲームの保守からみる次世代への継承と教育	公益財団法人中山隼雄科学技術文化財団	2023年3月	2024年2月	代表
13	塚本章宏	徳島城博物館所蔵甲冑コレクションの3Dデータベースの構築	立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際研究拠点」 2023年度 国際共同研究 [研究費配分型]	2023年4月	2024年3月	代表
14	飯塚 公藤	「鴨川古写真GISデータベース」の構築と河川環境の変遷分析に関する研究	立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」2022年度共同研究	2022年4月	2023年3月	代表
15	Mohamed Soliman	Qait' bay Citadel (1477-1479): Visualizing the Main Coastal Fortification of Medieval Alexandria, Egypt	ARC-iJAC	2022年4月	2023年3月	代表
16	廣澤裕介	出版助成金	一般財団法人橋本循記念会	2022年5月	2023年3月	代表
17	森慈尋	「禅の古刹大本山永源寺インバウンド誘客促進調査事業 永源寺文化財デジタルコンテンツ及びDB作製と翻訳」	○観光庁 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業 2022年度	2022年6月	2023年3月	代表
18	高橋彰	メモリーグラフを用いた京都の町並み変化に関する地域学習教材に関する研究	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 2021年度情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設公募型共同研究「ROIS-DS-JOINT」/ 一般共同研究	2022年7月	2023年3月	代表

(9). 知的財産権

No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	立命太郎	特許(国内)	本人単独	筆頭発明者	****	****	****	日本